国際理解教育
外国語活動の実践

国際理解教育全体計画

守谷市教育委員会

国際理解教育の目標
国際化にふさわしい日本人としての資質・能力の基礎を育てる

国際理解教育の内容
- ○　人権意識の涵養
- ○　異文化理解と尊重
- ○　自国の文化の理解と尊重
- ○　コミュニケーション能力の育成
- ○　国際協力と協調

英語活動・外国語活動のめざす内容
- ○　異文化の理解と尊重
- ○　自国の文化の理解と尊重
- ○　主体性の育成

守谷市外国語活動全体目標

外国語に触れる体験活動を通して，外国語を聞いたり話したりすることに興味関心をもち，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を育てるとともに，言語，文化，生活，習慣などに対する興味関心を高め，国際理解の基礎を培う。

小学校英語活動・外国語活動の目標

低学年	・歌や遊びなどの活動を通して，身近な外国語に触れ，その音に慣れ親しむ。 ・世界には，色々な国があることに気付き，異なる文化に興味をもつ。 ・外国語での元気なあいさつを通して誰とでも仲良くなろうとする態度を養う。
中学年	・歌や遊び，ゲームなどの活動を通して，簡単な外国語に触れながら，外国語を聞いたり，話したりすることを楽しむ。 ・異文化を受け入れようとする態度を育てる。 ・自分のことを外国語を交えて積極的に伝えようとする。
高学年	・外国語を通して，言語や文化について体験的に理解を深め，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り，外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら，コミュニケーション能力の素地を養う。 ・世界の国々の様々な生活や文化に触れ，自分たちの生活がそれらの国々と密接に結びついていることに気付く。 ・相手の立場を尊重し，外国語を交えて自分の考えをはっきり述べようとする。

⇩

中学校外国語（英語）科目標

外国語を通じて，言語や文化に対する理解を深め，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り，聞くこと，話すこと，読むこと，書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

Ⅰ　守谷市の外国語活動にあたっての基本的な考え

１　外国語活動のねらい

社会や経済のグローバル化が急速に進展し，異なる文化の共存や持続可能な発展に向けて国際協力が求められるとともに，人材育成面での国際競争も加速していることから学校教育において外国語教育を充実することが重要な課題の一つとなっている。

「人に優しい街づくり」を目指す守谷市としては，国際化時代への積極的な取り組みの第一歩として，市内全小中学校に英語指導助手（Assistant　Language Teacher 略して ALT）を配置し，外国語活動を位置付けた。外国語に触れる体験的活動を通して，外国語を聞いたり話したりすることに興味・関心をもち，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を育てるとともに，言語，文化，生活，習慣などに対する理解を深め，国際理解の基礎を培うことをねらいとし，様々な国の人とのふれあいを通して，優しさ・思いやりを基軸にした国際理解の精神を育てると共に国際コミュニケーションの素地を養い，次代を担う人づくりを目指して進めていきたいと考える。

２　外国語活動の意義と必要性

（１）小学校段階から実施する理由

児童期は，新たな事象に関する興味・関心が高く，言語をはじめとして，異文化に関しても自然に受け入れられる時期にある。このような時期に外国語に触れることは，コミュニケーション能力を育てる上でも，国際理解を深める上でも大変重要な体験となる。「外国語活動」そのものが異文化に触れる体験となり，さらに，外国の人や文化に関わろうとする時の手段として，外国語を活用しようとする態度を育成することにもつながる。すなわち，言語習得を主な目的とするのではなく，興味・関心や意欲の育成をねらうことが重要である。

また，児童期は，言葉に対する適応性という点からも適切な時期でもある。音声を中心に慣れ親しんでいく過程は，日本語の場合と同様であり，言葉を全体的に把握し，言葉のリズムやイントネーション，アクセントなどを自然な形で受け入れていくものと考えられる。

（２）英語を取り上げる理由

今日英語は，航空，商業，観光，先端技術分野，国際会議等の国際共通語として用いられており，多くの外国人と交流を深め，国際理解を進める上で最も有効な言語であり，世界とのコミュニケーションを図る上で欠かせない言語であるといえる。現行の中学校学習指導要領では外国語が必修教科となり，しかも「指導計画の作成と内容の取り扱い」の項目において，「２　外国語においては英語を履修させることを原則とする。」というように英語が取り上げられるようになった。また，新学習指導要領での小学校外国語活動においても，英語を取り扱うことを原則としている。

以上のことから，今後小学校における外国語（英語）活動はますますその必要性が高まることが予想され，それに的確な形で応えていくことが求められている。

３　教育課程特例校として

本市では，平成１３年度より市内全小中学校にＡＬＴを常時配置し，小学校１年生から６年生までの全学年で外国語活動の研究実践を行ってきた。各学級とも週１時間実施し，全ての時間において担任とＡＬＴとのＴＴ体制をとっている。これまで低学年では，教育課程外，中学年では総合的な学習の時間の「国際理解教育」として取り扱ってきた。しかし，平成２３

年度からの小学校新学習指導要領全面実施に伴い，低学年の授業時数増加による児童の負担増が懸念されることから，文部科学省の教育課程特例校の指定を受けることにした。１，２年生の生活科，３，４年生の総合的な学習の時間の１時間を新たな「英語活動」の時間として設定し，守谷市英語活動の充実を図ることにした。

４　国際理解教育における外国語活動の位置付け

国際理解の充実
国際化時代にふさわしい日本人としての資質・能力の基礎を育てる

国際理解教育の内容

★　人権意識の涵養
★　異文化理解と尊重
★　自国の文化の理解と尊重
★　コミュニケーション能力の育成
★　国際協力と協調

守谷市外国語活動のめざす内容

①　コミュニケーション能力の育成
②　文化(異国・自国)の理解と尊重

⇩

全　学　年　で　実　施	
①　特別活動の時間	学級活動，学校行事
②　創意工夫によって生み出された時間	
③　朝の会・帰りの会・給食などの生活時間の中で	

⇩　⇩

１・２・３・４学年	５・６学年
①英語活動の時間（H23 年度より） ※１，２年生は生活科，３，４年生は総合的な学習の時間の内容を含む（教育課程特例校として）。 ②　各教科等	①　外国語活動の時間 ②　各教科等

教　科	取　り　入　れ　の　視　点
国語	国際的な表現活動の違いを考える。
社会	地域や日本を国際的な立場から見てみる。
算数	筋道を立てて考える方法の違いに気付く。
理科	自然や環境についての国際的な考えを知る。
音楽	外国の音楽に親しむ。
図工	造形や鑑賞を通して，外国の文化を理解する。
体育	世界のスポーツに興味・関心を持つ。
家庭	衣食住の違いを理解する。
道徳	人間尊重の精神，他国の文化や伝統を尊重する態度を身につける。

Ⅱ　守谷市の外国語活動のあり方

１　守谷市の外国語活動の基本原則

○　守谷市の外国語活動は，外国語を通じてどれだけ子どもが興味・関心をもって楽しく積極的にコミュニケーション活動ができるかである。（単に英単語を覚え，英会話ができることを一義としない。）

○　守谷市の外国語活動は，ＡＬＴとＪＴＥが子どもとのコミュニケーション活動を大切にし，子どものコミュニケーション能力を育てていく活動である。

○　守谷市の外国語活動は，「聞くこと」「話すこと」に視点を置き，音声による活動を主とするものである。

○　守谷市の外国語活動は，外国語に触れることにより，子どもが異文化を理解し，自他の文化を尊重する国際人としての精神を育てていく糧とするものである。

○　守谷市の外国語活動は，基本原則を基に，各学校が全職員で協力し合いながら，年間活動計画を立案し実践していくものである。

２　守谷市の外国語活動の基本的な活動

子どもの外国語に対する興味・関心・意欲を高める活動

外　国　語　で　楽　し　く　遊　ぶ

主体的な活動・心のリラックス

音声活動・外国語のリズム・基本文型

○　ゲームをとおして，動作化をとおして，レクレーションをとおして，歌を歌って

コ　ミ　ュ　ニ　ケ　ー　シ　ョ　ン　能　力　を　養　う

○　スキットをとおして，ロールプレイや身近なテーマ活動をとおして

【インタビュー】

【１年生と６年生の交流】

【クリスマスイベント】

Ⅲ　外国語活動の内容

１　外国語活動の目標

守谷市外国語活動の全体目標

外国語に触れる**体験的**活動を通して，外国語を聞いたり話したりすることに興味関心を持ち，**積極的に**コミュニケーションを図ろうとする態度や**能力**を育てるとともに，言語，文化，生活，習慣などに対する**理解を深め**，国際理解の基礎を培う。

①　評価の観点と評価規準

評価の観点	観点の趣旨【★】　と　評価規準【①～③】
A　コミュニケーションへの関心・意欲・態度	★　外国語を使って，進んで相手と関わり，コミュニケーションの喜びや楽しさを味わう。
	①　相手の話をよく聞き，うなずいたり反応したりしている。 ②　進んで相手と関わり楽しくコミュニケーションを図ろうとしている。 ③　知っている表現を積極的に使うなど，外国語活動に取り組もうとしている。
B　コミュニケーション能力	★　聞いたり，話したりする体験的活動を通して，相手と気持ちや考えなどを伝え合う。
	①　自分にできる方法で，自分の思いや考えなどを伝えようとしている。 ②　活動の中で，相手の言っていることを一生懸命聞こうとしている。 ③　外国語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ろうとしている。
C　言葉や文化についての関心・理解・態度	★　外国には，さまざまな考え方や文化があることや日本の文化とのちがい，そのよさに興味をもつ。
	①　様々な言語に関心をもち言葉の面白さや言語の大切さに気付いている。 ②　外国と日本の文化のよさやちがいに気付き興味をもとうとしている。 ③　異なる文化をもつ人々との交流を通して，世界には，様々な言語や文化があることに気付いている。

②　外国語でのコミュニケーションを授業で体験する

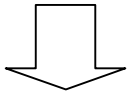
〔コミュニケーション場面の例〕

（ア）特有の表現がよく使われる場面を設定する

・あいさつ　・自己紹介　・買い物　・食事　・道案内　etc

（イ）児童の身近な暮らしにかかわる場面を設定する

・家庭での生活　・学校での学習や活動　・地域の行事　・遊び　etc



〔コミュニケーションの目的の例〕

（ア）相手との関係を円滑にする【呼びかけ，相づち，聞き直し（＝Social Skill)】

（イ）気持ちを伝える【礼を言う，誉める（＝Social Skill ／ ＝Discourse Skill)】

（ウ）事実を伝える【(＝Discourse Skill)】

（エ）考えや意図を伝える【(＝Discourse Skill)】

（オ）相手の行動を促す【質問する，依頼する（＝Social Skill ／ ＝Discourse Skill)】

２　活動内容

守谷市の小学校における外国語活動は，英語という言語を通して，日本とは異なる文化を持つ人々と進んでコミュニケーションを図ったり，ゲームや歌，または身近なテーマ中でのコミュニケーション体験を友達と楽しく活動したりする中で，他と積極的にコミュニケーションを図ろうとする能力の素地を養うことを目標としている。

また，自然に英語の音に触れ，無理なく英語を聞き，話すといった英語に慣れ親しむなどの言語や文化の体験的な理解は，同時に国際理解の基礎を培うことであると考える。

（１）守谷市が外国語活動を通して目指すねらいの一つ「コミュニケーション能力」については，「聞く」「話す」活動を主として育成していくものとする。

（２）主な活動内容については，必ず指導するものではなく，到達すべき内容でもなく，あくまでも学校の特色や学年の実態を把握し，年間計画を立案する上での参考とするものである。

（３）アルファベットについての指導は，児童の実態に合わせて，小学校６年間で指導していくことが望ましい。但し，ドリル的な指導や教え込みの指導は控えるようにする。

（４）「書く」活動については，学年の実態に合わせて，「自分の名前を書く」「グリーティングカード作り」程度の内容に押さえておくことが望ましい。但し，「クラブ活動」など時間を通して，児童の興味・関心から判断し「書く」活動を取り入れてもよい。

（５）「文字」については，教えるのではなく，単語や基本的な文型など掲示板を活用して，視覚的に示すようにする。

（６）中学校の外国語教育との連携を考える上では，小学校の外国語活動は，児童に外国語や外国文化に対する興味・関心をもたせ，その高まりを中学校の外国語教育につなげ，「耳」から学んだ「聞く・話す」力を大いに発揮させることで，中学校の外国語教育に意欲的に取り組むことができるようにすることが重要である。

３　外国語によるコミュニケーションに親しむ環境作り

外国語によるコミュニケーションに親しむためには，外国語活動の時間以外に，ＡＬＴによる教育活動への参加や校舎内外の環境等を工夫することによって，児童への興味・関心を高めていくことができる。

（１）朝の時間，昼の時間，帰りの時間などの活動に，ＡＬＴが一緒に参加しやすいような活動を工夫することが望ましい。

（２）ＪＴＥ・ＨＲＴは，積極的に外国語活動に取り組めるよう研修の機会を確保し，関係資料の整備などに心がける。
（３）ＪＴＥ・ＨＲＴは，定期的に研修を行い外国語活動の反省と今後の活動等を検討することが望ましい。
（４）外国語活動教室の設置，国際理解コーナーの設置など，児童が自由にＡＬＴと触れ合える場を確保する。

４　年間活動計画の作成

（１）年間活動計画作成の必要性

児童の外国語に対する興味・関心を高め，持続させつつ外国語活動の目標を達成させるためには，年間の活動計画が不可欠である。場当たり的な活動を中心に進めることは，マンネリ化に陥りやすく，やがて児童は興味を失ってしまう心配がある。

従って，各学校は，守谷市の「外国語活動の基本的な考え方や全体目標」や「活動目標や評価規準」に沿って，児童の実態や地域性を踏まえ，学校の特色を生かしながら，年間活動計画を作成していくことが重要な課題になる。

また，単位時間の計画案についても，職員が協力し合い検討し，共に十分理解した上で活動に臨むことが大切である。そして，実践し，その活動が適切であったかどうか常に振り返り，見直し，修正し，記録を残すようにすること（ＰＤＣＡサイクルの確立）が，児童の積極的な活動につながる要因である。

（２）年間活動計画作成の留意点

○　守谷市の外国語活動の基本的な考え方を押える。
○　守谷市の活動目標を柱に授業を構成し，評価規準で振り返る。
○　１年間を見通して，変化のある計画を立てる。
○　発達段階を考慮し，無理や重複のない計画を立てる。
○　地域の特性や学校環境を生かす。
○　国際理解や他国の文化に触れる活動を取り入れる。

年間活動計画や１時間の活動計画については，全職員が共に検討・見直し・修正を行い，共に実践し，共に積み重ねていくことが重要である。

作成に当たっては，日本語版と合わせて，ＡＬＴが把握しやすいように英語版を用意することにも配慮したい。

５　第２土曜日の外国語活動

（１）名称　　「ＡＬＴと遊ぼう＆話そう」
（２）趣旨

○　守谷市における小学生の国際理解の精神を深めるとともに，国際交流に対する積極的な態度を養う。
○　外国語活動を通して土曜日の体験活動の場を提供し，充実を図る。

○　外国語活動を通して，学校・児童・保護者交流・連携を図る。

※　小学校１年生から４年生までは，「ＡＬＴと遊ぼう」，小学校５，６年生は「ＡＬＴと話そう」ということで今年度から実施

（３）対象　　守谷市小学生及び保護者

（４）内容　　ＡＬＴ３人の講師による外国語遊びを中心とした外国語活動

（５）期日　　原則毎月第２土曜日

６　外国語活動推進委員会

（１）ねらい

○　外国語活動の積極的推進とＡＬＴの有効活用のための研修を実施する。

○　小学校から中学校への外国語活動におけるスムーズな連携のための研修と，協議を実施する。

○　小学校，中学校の授業研究を交互に実施し，研究協議を通して守谷市の外国語活動の充実を図る。

（２）平成２４年度外国語活動推進委員会実施一覧

期　　日	内　　容	場　所
５月１６日（水）	今年度の取組，各校年間活動集作成	市役所大会議室
７月　９日（月）	小学校授業研究と協議	松前台小学校
１０月　３日（水）	中学校授業研究と協議	けやき台中学校

７　ＡＬＴミーティング

（１）ねらい

○　ＡＬＴ資質の向上を図る。

○　各校の情報交換と教材研究及び開発。

（２）平成２４年度ＡＬＴミーティング実施一覧

期　　日	時　間	場　　所
４月　２日（月）	１３：００	市役所　中会議室
４月１８日（水）	１５：３０	市役所　小会議室
６月１８日（月）	１５：３０	市役所　中会議室
９月　３日（月）	１５：３０	市役所　小会議室
１１月　６日（火）	１５：３０	市役所　小会議室
１月　８日（火）	１５：３０	市役所　小会議室

□　小学校実践事例　□

外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立大井沢小学校

１　はじめに

小学校での外国語活動（英語活動）は「コミュニケーション能力の素地を養う」のが目標である。ＡＬＴとのネーティブな英語のやり取りやゲーム等の体験的な活動を盛り込み，英語への興味や関心を高めると共に異文化を理解し，自他の文化を尊重する精神を育むことがねらいである。

そこで，本校では，今年度も英語好きの子を増やしていくために，学級担任とＡＬＴによる，児童が安心して楽しく活動する『英語で存分に遊ぶ』外国語活動に取り組んできた。

２　実践

本校では，児童が安心して楽しく活動する『英語で存分に遊ぶ』外国語活動（英語活動）をするために，年間指導計画を見直し，次のことを重点に取り組んだ。

〈低学年〉

生活用語を重視した活動に取り組んだ。その中でも挨拶の言葉を重視し，毎回繰り返し指導した。また，「英語のシャワー」の歌や「Ｓｉｍｏｎ　ｓａｙｓ」，単語をおもしろい声で言う等のゲームをたくさん取り入れて楽しい雰囲気の中で授業を実施した。

〈中学年〉

中学年では，天気，月日・曜日に関する簡単な会話を重点にし，毎回繰り返して指導した。また，ポイントカードを使ったり，じゃんけんゲーム，ビンゴゲーム，鬼ゲーム等のゲームや歌を取り入れ，英語を楽しく聞いたり，話したりする活動に取り組んだ。

〈高学年〉

高学年では，「Ｈｉ，ｆｒｉｅｎｄｓ」を基に楽しく友達やＡＬＴとコミュニケーションを図る活動を行った。ＡＬＴの質問に列ごとに答えてタイムを競うタイムゲームや町の地図を書いてお互いに英語で道順を聞いたり答えたりの交流をすること等に取り組んだ。その他，ハロウィン，クリスマス，バレンタインの時期に関連する単語を使ったゲームや遊び，スキット，カード作り等体験的に英語で外国の文化にふれ楽しむ授業に取り組んだ。また，振り返りカードを使った自己評価の実施や校内英語コーナーの充実にも取り組んだ。

３　特例校としての取り組み

〈低学年〉

生活科のねらいに迫るために，日常の挨拶や父・母・姉等の家族の呼び方，身近な虫の名前等の英語を聞いたり話したりする活動を重視して行った。感謝の気持ちや家族の一員であることの意識を高めた。

〈中学年〉

総合的な学習の時間のねらいに迫るために，クリスマスや感謝祭では，ＡＬＴから日本とアメリカの習慣の違いを聞いて自分たちの文化との違いやよさに気付く場を設けた。また，「さよなら」を色々な国の言葉で表現させたり国旗調べにも取り組ませた。

４　成果と課題

◇　成果

・英語を言うことへの抵抗感が少なくなり，大きな声で挨拶したり，「Ｔｈａｎｋ　ｙｏｕ」「Ｏｎｅ　ｍｏｒｅ　ｐｌｅａｓｅ」等の言葉を自然に使うことができる児童が増えた。
・ヒアリング力がアップしてきた。また，高学年では，一問一答のやり取りから覚えた単語を使って友達と双方向の会話ができる児童もみられるようになった。

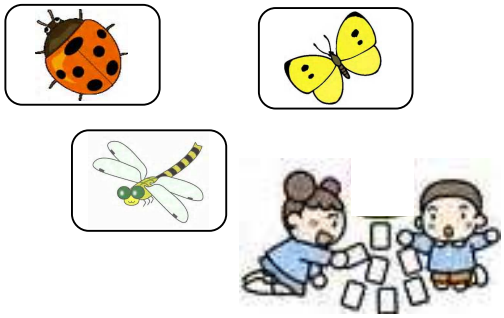
◆　課題

・児童が安心して生き生き活動する外国語活動が，更にステップアップするような楽しい手立てを工夫し，中学校へ繋がる英語でのコミュニケーション能力の向上を図る。

大井沢小学校　第１学年英語活動案

授業者　ＨＲＴ　　沼田　百合恵
　　ＡＬＴ　　ロバート・ハシモト

題材名　　「Ｂｕｇｓ」

時間（分）	学　習　活　動	☆留意点　　★準備する物
3	1　英語で挨拶をしたり問いかけに答えたりする。 How are you？ How's the weather？ What time is it？ What's the day？ など	☆ 始めにクラスで考えたジェスチャーダンスをして，本時の活動の意欲を高める。(HRT/ALT) ☆ リラックスして活動できるよう明るい雰囲気で始める。 ☆ 日にちや曜日などいろいろな問いかけにヒントを与え，安心して答えることができるようにする。
8	2　ジャンケンゲームをする。 ・教室を歩き回って出会った人と挨拶をしてからジャンケンをする。 My name is ～. Rock Scissors Paper,123	☆ 歩き回っているだけにならないように見守り，声をかけづらそうにしていたら支援する。(HRT/ALT)
１２	3　虫に関係する単語を覚え，練習する。 ・Firefly ・Bee ・Ladybug ・Beetle ・Caterpillar ・Mosquito ・Spider ・Fly ・Butterfly ・Grasshopper ・Ant ・Worm ・Preying Mantis ・Dragonfly	★ 絵カード（資料１） ☆ 既習単語と新出単語を交ぜて練習することで，自信をもって話すことができるようにする。
１２	4　カルタをする。 	★ カルタカード（資料２） ☆ 初めにやり方やルールを説明し，楽しく活動できるようにする。 ☆ HRT と ALT が，分かれて個別に英語で声かけをしながら，支援する。 ☆ 机や椅子を教室の端に寄せて，広く場所をとって行う。 ☆ ゲームの中で，単語を発音したり，耳で聞いたりする活動を多くとり，楽しみながら英語に親しめるようにする。
4	5　活動を振り返る。 ・今日覚えた単語を復習する。	会話やゲームに積極的に参加し，活動を楽しむことができたか。(観察)
6	6　挨拶をする。 Thank you very much！ See you！ Adios！ Ciao！ au revoir！ Sayonara！	☆ 本時の活動を振り返り，楽しくできたことを賞賛し，活動への満足感がもてるようにする。(HRT/ALT) ☆ 大きな声で挨拶し，次時への期待感を高める。(HRT/ALT)

大井沢小学校　　第５学年外国語活動学習指導案

授業者　　HRT　向井　浩恵

ALT　Robert　Hashimoto

題材名　「What's　this？（物の名前を聞いてみよう）」

時間(分)	学　習　活　動	☆留意点　★準備するもの	
		HRT の指導	ALT の指導
3	1　挨拶をする。（一斉） Hello. How are you？ （資料１）	・児童と一緒に明るく挨拶をする。	・正しい発音のモデルを示す。 ・天気や曜日，時間の言い方を確認する。
7	2　Simon Says Game を行う。（一斉）	・ゲームに乗れない児童の側に行き，一緒に行う。 ・ALT の指示が分からず，戸惑っている児童がいる時は，補足説明をする。	・ゲームのリーダーをする。 ・なごやかな雰囲気で取り組めるよう，声の大きさやジェスチャーに配慮する。
10	3　日本語と英語の発音の違いを確認しながら，物の名前を復唱する。（一斉） （資料２　資料３）	・写真カードの物の名前を日本語で言う。 ・マンションやシール，フライドポテトのように，日本語と英語の意味の違う外来語の補足説明をする。また，シャボンやパンはポルトガルからの外来語であることにも触れる。 ★写真カード	・写真カードを出し，HRT が日本語で答えたあと，英語での発音を言う。児童が慣れた頃を見計らって，児童を指名する。 ☆簡単な物から難しい物に移行できるよう，カードを出す順番に留意する。
20	4　連想ゲームをする。（ペア） ・二人組になってじゃんけんをし，負けた方が What's　this？と質問をする。 A: What's　this？ B: Hint please. A: It's a fruit. B: Hint please. A: It's　red. B: O.K! It's an apple. A: That's right. No. It's a ○○. （資料４）	・ALT とともに，ゲームのデモンストレーションをする。 ☆自分が書いた物の色がとっさに答えられない児童には，カードの裏に色を記入するようアドバイスする。 ・相手が見つからない児童に声をかけ，一緒にゲームをする。 ・日本語を使わないで会話が成り立つよう配慮する。 ★児童自作の絵カード ★ポイントカード ★会話カード	・HRT とともに，ゲームのデモンストレーションをする。 ☆　ヒントなしで当てたら３ポイント，１ヒントで２ポイント，２ヒントで１ポイントとしてカードにサインすることを伝え，たくさんの友達と意欲的に関わるよう促す。 ・クラス全体を見渡して，うまくいかない組にアドバイスする。 ★カラーカード ★フルーツカード ★スウィーツカード ★ベジタブルカード
5	5　本時の振り返りと，挨拶をする。 See you next time. Good-bye.	・児童と一緒に元気に挨拶をする。	・児童のがんばりを称賛する。 ・称賛された児童に拍手をおくる。

第１学年の英語活動

（資料１　絵カード）

（資料２　カルタカード）

＊虫に関する絵カード

・Firefly ・Bee ・Ladybug ・Beetle ・Caterpillar ・Mosquito ・Spider
・Fly ・Butterfly ・Grasshopper ・Ant ・Worm ・Preying Mantis ・Dragonfly

【授業の流れ】

ジェスチャーダンスでスタート

ジャンケンゲーム

カルタ

第５学年外国語活動

資料１
自作のジェスチャーで
元気に挨拶

資料２
「フライドポテトでは
なくて？」

資料３
「What's this?」

資料４
二人組で会話を楽しむ

外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立大野小学校　担当　小泉　正子

1　はじめに

本校では，外国語活動を通して，外国の言語や文化に興味・関心をもち，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するために，外国語活動の授業や校内環境の工夫を行ってきた。

2　実践

（1）　授業での取り組み

○　年間計画の中で同じ言葉や会話を繰り返し取り上げ，何度も復習することで理解を深め，外国語に慣れ親しむようにする。

○　動作を取り入れながら歌を歌ったり，発音練習をしたりして体験的に言語に親しむようにする。

○　季節や行事に合わせてカードなどの物作りを行い，外国の文化を理解できるようにする。

（2）　校内環境

○　校舎内の各階に国際コーナーを設置し，英語や異文化の理解を深めるようにする。

○　「英語のシャワー」CD を給食の放送で流し，日常的に英語に触れるようにする。

3　特例校としての取り組み

〈低学年〉

○　あいさつを覚えてコミュニケーション能力を育てたり，ゲームを通して，友達や先生とコミュニケーションを図る。

　また，動物や季節の表現を覚える。

〈中学年〉

○　ハロウィンなど外国の文化や食べ物の英語での表現を調べたり，世界の料理や米の加工品を調べたりする。

4　成果と課題

毎時間，活動の中心になる会話を位置付けていること，何週かにまたがって繰り返し会話の練習を行うことで，理解を深め，表現に慣れることができた。また，今年度も ALT が休み時間や他教科で積極的に児童と親しむことで，英語の授業でも楽しく学習することができた。

課題としては，発達段階に応じた指導を行うために再度年間計画を見直したい。また，ゲームを取り入れた学習によりコミュニケーションを活発に行うことができているが，さらに自信をもって自己表現ができるように指導を工夫したい。

《昇降口の国際コーナー》

《　様々な職業の英語表現の紹介　》

大野小学校　第３学年　外国語活動学習指導案

指導者　ＨＲＴ　小泉　正子
ＡＬＴ　Erin　Fowler

１　学習のテーマ　　Ｄｏ　ｙｏｕ　ｌｉｋｅ　～　？

学習活動及び内容	指導・支援上の留意点（㊦は評価）	
	ＨＲＴ	ＡＬＴ
１　はじめのあいさつをする。 Good afternoon!	・児童が元気よく挨拶できるよう一緒に挨拶をする。	・元気がない時は挨拶を再度行い，最初の活動を大切にする。
２　「If you're happy and you know it.」を歌う。	・状況を確認しながらＣＤの準備や操作をする。	・ゆっくりと発音して覚えられるようにする。
３　いろいろなスポーツの名前を知り，発音の練習をする。	・ＡＬＴの発音をよく聴き，口の動かし方をよく見るよう助言する。	・絵カードを用いて，様々なスポーツの名称を英語で発音し，手本を示す。
４　ジェスチャークイズをする。 ・グループごとに指定されたスポーツのジェスチャーを考える。 ・クイズを行う。	・児童の様子を観察し，必要に応じて日本語で補助をする。	・グループの状況を把握し，支援を行う。
５　インタビューゲームをする。 (1) ゲームのルールを知る。 ・Do you like ～？の発音練習をする。 ・質問されて，好きな場合は「Yes,(I do.)」，苦手な場合は「No,（I don' t).」で答える。	・ゲームのデモンストレーションを行い，ルールを確認する。	・ルールが理解できたかどうかを確認しながら発音練習を繰り返す。
(2) ゲームを行う。 ・インタビューゲームに答えてくれた友達やＡＬＴの名前をワークシートに記入し，お互いに質問し合う。 ・質問後，ワークシートに○×を記入する。 ・ワークシート全部に名前が入るようにインタビューを繰り返し行う。	・自ら進んで話しかけられない児童には，一緒に発音したり，会話の相手になったりする。 ・元気にやりとりができた児童を称賛する。 ㊦ 英語の音声や表現に慣れ親しみながら自ら進んでＡＬＴや友達と活動することができる。 （コミュニケーションへの関心・意欲・態度；観察，ふり返りカード）	・表現の仕方が分からない児童には，繰り返し手本を示したり一緒に発音したりする。
６　本時のまとめとふり返りをする。 ・ふり返りカードに今日の学習の感想を書き，自己評価をする。	・ふり返りカードへの記入の様子を観察しながら，児童の活動を称賛する。	
７　終わりのあいさつをする。 See you next time. Thank you.	・終わりの挨拶の際にお礼の挨拶をする。	・次時への意欲が高揚するよう，元気に挨拶を交わす。

大野小学校　第６学年　外国語活動学習指導案

指導者　ＨＲＴ　室伏　喜久子
ＡＬＴ　Erin　Fowler

１　学習のテーマ　　Ｉ　ｗａｎｔ　ｔｏ　ｂｅ～.

学　習　活　動　及　び　内　容	指導・支援上の留意点　　（㊒ は評価）	
	ＨＲＴ	ＡＬＴ
１　挨拶とWarm・up Good morning! How are you? I'm ~. Today is February 5th, 2013. How is the weahter? It's~.	・児童が元気よく挨拶できるよう見守る。 ・挨拶が苦手だったり，声が小さかったりする児童には，一緒になって答えられるよう励ます。	・英語で挨拶をする。 Good morning! How are you? I'm ~. ・全体に挨拶をした後，数名の児童と挨拶を交わす。
２　今日のトピックスの確認をする。		
３　Review ・フラッシュカードをもとに，職業の言い方とその職種を確認する。	・机間指導をし，職業の言い方の確認をすると共に，大きな声で発音できるよう励ます。	・フラッシュカードとを用いて，服装や場面などと職業が一致するようにし，くり返しの発音によって慣れさせていくようにする。
４　Ｉ want　ｔｏ　ｂｅ～. のゲームをする。		
(1)ゲームの準備をする。 ・教科書に掲載された職業カードを時間短縮のために２人１組で切り取り，ゲームの準備をする。	・手際よくカードを切ることができるよう，見守る。	・ルールの確認をしながら，繰り返し発音の練習をしていくようにする。
(2)ゲームをする。 ・カードを裏返し，ＡＬＴが発音したカードを探す競争をする。 ・２チームに分かれ，代表が黒板を背にして立ち，選んだ職業のヒントを貰うことでカードの職業を当てる。	・机間指導によって，ゲームが円滑に進むよう見守りとアドバイスをしていく。 ・ＨＲＴ，ＡＬＴも机間指導をしながらゲームに加わり，会話することの楽しさを共有する。使う言葉に戸惑っている児童には，発音の仕方をアドバイスしていく。 ㊒職業に関するヒントを積極的に述べたり，意欲的に職業当てゲームに参加しようとしている。 （コミュニケーション能力：行動観察）	・発音や表現の仕方に戸惑っている児童には，囁きを することで自信を促していく。
５　本時のまとめとふり返りをする。 ・本時の会話を復唱し，まとめとする。 ・ふり返りカードを使い，本時の学びをふり返る。	・児童に様子を観察したり質問したりして，本時の課題が理解できたか確認していく。	・本時の会話を復唱することで学習内容を再確認し，まとめとさせていく。
６　終わりの挨拶をする。 Good job. See you next time. Thank you.	・本時の活動をふり返り，自己評価カードへの記入がしっかり行えるよう見守る。	・自己評価カードを見ながら，児童の活動を賞賛し，次時への意欲に繋げていく。

（資料１）　学習の様子：６年生

《「桃太郎」の劇をグループ毎に工夫しながら
発表する》

《２人組になってカードの準備をする》

《職業のヒントをもらい，カード名を当てる》

（資料２）学習の様子：３年生

《インタビューゲームをする様子》

授業で使用したプリント

《インタビューゲーム用のカード》

外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立高野小学校

1　はじめに

小学校における外国語（英語）活動は，英語という言語を使って，日本とは異なる文化をもつ人々と進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことが大切であると考える。このことが，コミュニケーション能力の素地を養うことにつながっていく。

その第一歩として，児童が英語で歌を歌ったり，ゲームをしたりして楽しく活動する中で，自然に英語の音声に触れ，慣れ親しむことが大切なことである。毎日の学校生活の中で，ＡＬＴ，ＨＲＴ，児童たちで相互に英語を通してお互いの国の文化を学び合い，国際理解の基礎を構築させていきたい。

2　実践

・本校では，毎週火曜日をイングリッシュデイとして，朝の会，授業の号令，給食の号令，帰りの会を英語でおこなっている。昼の放送ではＡＬＴが英語でクイズを出して，正解した児童にカードを与えている。
・校内の掲示板に英語コーナーを作り，各学年で使った絵カードやワークシート，外国の文化に関するものを掲示し，たくさんの児童たちに広めている。
・給食時にはＡＬＴが教室を訪問し，児童たちのグループに入って給食を食べながら交流を深めている。
・授業参観の時には，積極的に英語の授業を公開し，保護者にも英語教育に関心をもってもらえるようにしている。

3　特例校としての取り組み

＜低学年＞

・身近な人々，社会とのかかわりに関連する取り組みとして，あいさつ，自己紹介でコミュニケーションを深めるための表現を学習してきた。
・自然との関わりに関連する取り組みとして，毎日の天気の表現，好きな動物，果物，野菜について問答する時に必要な表現を学習してきた。

＜中学年＞

・外国で人気のあるスポーツを英語でＡＬＴに尋ね，ワークシートにまとめた。また，日本のスポーツと比較することで，国際的な知識を深め，探求的な学習ができた。
・ハロウィン，クリスマスなどの外国の文化について，クイズ形式でワークシートにまとめて，日本の文化と比べることができた。

4　成果と課題

○　成果

・同じ英語を，異なるパターンの活動に複数回取り入れることで，何度も繰り返し触れることができ，児童が自信をもって英語で表現できるようになってきた。
・外国の文化に触れることで，日本の文化と比較して考え，もっと外国について知りたいという児童が増えている。

●　課題

・ＨＲＴが主となってできる外国語（英語）活動の時間を，１時間の流れの中で，より多く取り入れていけるようにしたい。
・小学校で学習したことを中学校につなげていく体制作りが必要である。

高野小学校　第３学年外国語活動案（英語活動案）

授業者　　ＨＲＴ　池崎　亮

ＡＬＴ　Robert Pomichter

題材名「動物の名前を学ぼう」

学習内容・活動	指導上の留意点・評価	
	ＨＲＴの指導	ＡＬＴの指導
1　あいさつをする。 Hello. How's the weather? What day is it today?	・児童と一緒に元気にあいさつし，明るく楽しく学習できる雰囲気作りに努める。 ・質問が理解できていない児童には個別に支援する。	・ピクチャーカードなどで理解しやすくさせる。
2　歌を歌う。	・児童と共に楽しく歌い，明るい雰囲気を作る。	・ジェスチャーを交えて英語の歌を分かりやすく歌う。
3　動物の名前のスペリングクイズを行う。		
（1）ＡＬＴとＨＲＴのデモンストレーションを見る。（資料１）	・ＡＬＴと一緒にゲームのデモンストレーションを見せる。	・ＨＲＴと一緒にゲームのデモンストレーションを見せる。
（2）ルールを確認する。	・児童ひとりひとりの視線，表情から，理解を確認する。	・例題を使ってルールの確認をし，児童の理解を促す。
（3）英文の中に入っているアルファベットを当てていく。	・たくさんの児童が発表できるように配慮する。	・正しい発音を児童に伝えるために全体でも発声させる。
4　ワークシートで動物探しゲームを行う。 （資料２，３）	・ここまでの学習で理解が不十分な児童を支援する。 ・ＨＲＴもゲームに参加することで，児童の意欲を高める。	・動物の名前が見つけられない児童には絵カードなどでヒントを与える。 ・活動の時間については，児童の進み具合を見て，延長する。
	評　動物の名前を英語で積極的に表現しようとしている。（観察・ワークシート）	
5　本時のまとめをする。 ・ワークシートを使って，好きな動物を英語で表現する。	・表現に困る児童には一緒に発声し，自信をもたせる。 ・児童が表現に困ったら，ヒントを与える。	・個から全体に発声させ，理解を確認する。

高野小学校　第４学年外国語活動案（英語活動案）

授業者　　ＨＲＴ　寺田　茂雄

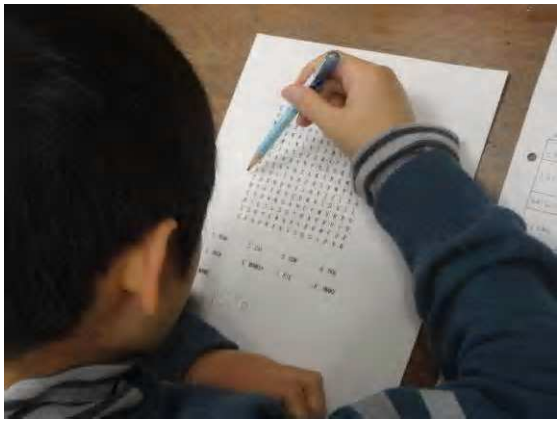
ＡＬＴ　Robert Pomichter

題材名「Ｃａｎを使って，英語で問答しよう。」

<table>
<tr><td rowspan="2">学習内容・活動</td><td colspan="2">指導上の留意点・評価</td></tr>
<tr><td>ＨＲＴの指導</td><td>ＡＬＴの指導</td></tr>
<tr><td>１　あいさつをする。
Hello.
How’s the weather?
What day is it today?</td><td colspan="2">・児童と一緒に元気にあいさつし，明るく，楽しく学習できる雰囲気作りに努める。</td></tr>
<tr><td></td><td>・質問が理解できていない児童に個別に支援する。</td><td>・リズムよく発音できるように模範を見せる。</td></tr>
<tr><td>２　歌を歌う。
（資料４）</td><td>・児童と一緒に楽しく歌い，英語学習に引き込む。</td><td>・必要に応じてジェスチャーなども入れて，楽しく歌えるようにする。</td></tr>
<tr><td>３　トンネルゲームをする。
（資料５）</td><td>・チームについては学力，友人関係に配慮する。</td><td></td></tr>
<tr><td>（１）ＡＬＴのカードを見て，ペアで保持しているカードであったら，仲間の作ったトンネルをくぐって元の位置に戻る。</td><td>・必要に応じて児童の中に入ってゲームに参加し，理解を促す。</td><td>・カードを見せるタイミング，順序などを工夫し，児童のモチベーションを高める。</td></tr>
<tr><td>（２）チーム全員でカードの内容を英語で発声し，座る。</td><td>・理解が不十分な児童に対しては，その児童の状況に応じて支援する。</td><td>・１問ごとに修正点があったら指摘し，よりよい活動ができるようにする。</td></tr>
<tr><td>（３）早く発声し，座ることができたチームの得点になり，得点の多いチームの勝ちとなる。</td><td>・単なる走り比べにならないように，ゲームの目的を確認する。
・発声できていない児童には個別に支援する。</td><td>・大きな声で発声できてチーム，声がそろっているチームを称賛することで，両チームの意欲を喚起する。</td></tr>
<tr><td>４　インタビューゲームをする。
（１）インタビューのデモンストレーションを見る。</td><td>・できるだけ英語とジェスチャーで，アドバイスする。</td><td>・ジェスチャーなども交えて，児童の興味・関心を高める。</td></tr>
<tr><td>（２）友だちにインタビューして，サインをもらう。（資料６）</td><td>・児童とのインタビューで，理解をチェックする。
評　積極的にインタビューしようとしている。
（観察・ワークシート）</td><td>・ＡＬＴもインタビューに加わり，児童の意欲を刺激する。</td></tr>
<tr><td>５　学習のまとめをする。
できることを表現する。</td><td>・個から全体に発声させ，理解を深める。</td><td>・ピクチャーカードを使って表現しやすくさせる。</td></tr>
</table>

（資料１）

（資料４）



（資料２）

（資料５）

（資料３）

（資料６）

外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立守谷小学校

1　はじめに

本年度も守谷市の目標である「外国語に触れる体験的な活動を通して，外国語を聞いたり話したりすることに興味関心を持ち，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を育てるとともに，言語，文化，生活，習慣などに対する理解を深め，国際理解の基礎を培う。」をもとに，本校では，知っている英語の表現を積極的に使って進んで相手と関わり，コミュニケーションが図れる活動に取り組んできた。また，お昼の放送では，英語の歌をかけて，外国語の音声や言葉のちがいなどに興味関心がもてるようにしてきた。

2　実践

高学年の児童の多くは，英語の時間を楽しみにしている。進んで相手とコミュニケーションが図れるようにするために，Hi,Friends!を使って身近な場面を設定し実際に活動したり，ゲームを取り入れたりするなど，楽しく理解を深めるようにしてきた。児童の実態に合わせて形態を変えながらグループでの活動や全体でのスピーチ形式にするなど工夫した。道案内をする場面を設定しコミュニケーション活動を行った時は，ペアでの活動を中心に行った。異文化理解では，ＡＬＴの母国でのハロウィンやクリスマスの過ごし方などを紹介してもらい，生活習慣の違いを体験した。

また，英語の授業を保護者に公開し本校の取り組みを紹介している。

3　特例校としての取り組み

＜低学年＞

本年度生活科と関連した取り組みの中で力を入れてきたことは，自己表現力を養うことである。それは，様々な場面で自分の考えや思いを相手に伝えることが大切であると考えたからである。生活科の目標は，具体的な活動や体験を通して，自立への基礎を養うことである。身近な人々との関わりにおいては，誰とでも英語で簡単な挨拶ができるようになったこと。また，自分が今どんな状態であるかを相手に伝えることができるようになったことである。また，社会や自然との関わりにおいては，いろいろな野菜や食べ物，動物の名前，また公共施設の名称や乗り物を英語で表現し楽しく学習できた。その活動に「好きか嫌いか」ゲームやカルタ用いたゲームをして表現力を高めた。

＜中学年＞

総合的な学習の時間との関連では，国際理解，情報や環境そして伝統や文化に関する内容が挙げられる。国際理解では，ハロウィンやクリスマスの過ごし方や生活習慣を歌やゲームで体験することができた。情報や環境では，自然の中のものを植物や昆虫，鳥，水資源などを英語で表現した。伝統や文化では，古くから伝わるものや歴史的建造物などの名称を英語で表現することにより表現や文化のちがいに興味関心をもつことができた。

4　成果と今後の課題

どの学年の児童も外国語活動（英語活動）を楽しみにしており，毎時間熱心に取り組んでいる。低学年では，歌やゲームを中心に体を動かしながら，楽しく英語活動をおこなった。高学年においても個人差はあるが，複数回繰り返すことによって，英語で表現できた。英語による質問で困っている友達がいたりすると周囲の児童がアドバイスしたりＨＲＴの支援により円滑に進められた。

今後の課題は，コミュニケーション能力をさらに高めるためには，児童の意欲が持続する活動や内容を展開していかなければならない。また英語による問答や会話を中心としたコミュニケーション活動を継続して行っていくことが必要であると感じた。評価や自己評価に関してもＡＬＴとの連携をとっていきたい。

守谷小学校　第１学年英語活動案

ＨＲＴ１　和田　政子
ＨＲＴ２　中村由紀子
ＡＬＴ　　クリス　ラクレア

題材名　　わたしの好きな色

配時	学習活動及び内容	支援と評価　（※評価）		
		ＨＲＴ１	ＨＲＴ２	ＡＬＴ
５	１　あいさつをする。 “Good Morning.” “How are you?” “I’m fine, thank you.” “How’s weather?”	・児童と一緒にあいさつをする。 “Good Morning? ” “I’m fine, thank you.” ・一緒に活動し，楽しい雰囲気づくりをしながら既習内容を想起させる。	・児童と一緒にあいさつをする。 “Good Morning? ” “I’m fine, thank you.” ・なかなか表現できない児童に対しては寄り添い，言い方を教える。	“Good Morning? ” “How are you?” “How’s weather?” ・絵カードを提示しながら発音の練習をする。
１０	２　ウォーミングアップをする。 (1)“Hello song″ を歌う。 (2) ミッシングゲーム 黒板にはってある絵カードの中から，消えたカードを当てる。 すきないろを伝えよう。	・一緒に歌を歌い，次の活動へつなげる。 ・ＡＬＴの質問が分からない時は説明する。	・一緒に歌を歌い，次の活動へつなげる。 ・動けない児童に対しては，一緒に移動する。	・児童と一緒に歌を歌いながら踊る。 ・表現の仕方が分からない児童がいた場合は繰り返し発音する。
１０	３ Yes,No ゲームをする。 ＡＬＴが「Do you like ～?」と質問をしたらそれぞれ 「Yes,I do.」 「No,I don’t」 「so so.」のいずれかで答える。	・ＡＬＴと一緒にデモンストレーションをして，やり方を知らせる。 ・答える人数が少ないところへ行き，一緒に発音する。	・ＡＬＴと一緒にデモンストレーションをして，やり方を知らせる。 ・動けない児童に対しては，一緒に移動する。 ・答え方が分からない児童には一緒に活動する。	・児童に分かりやすくゆっくり質問をする。 ・児童に質問をする。 「Do you like ～?」 答え方は， 「Yes,I do.」 「No,I don’t」 「so so.」いずれかで答える。
１５	４　カルタ・ゲームをする。 グループに分かれて，質問に対して一人ずつ順番に好きな物を発言していく。 「What color do you like?」 「I like ○○○.」	・活動の説明をする。 ・教師はそれぞれ２グループ担当し，発言できない児童に対してサポートしていく。 ※進んで自分のことを友達に伝えようとしている。 （活動の様子）	・教師はそれぞれ２グループ担当し，発言できない児童に対してサポートしていく ※進んで自分のことを友達に伝えようとしている。 （活動の様子	・答え方が分からない場合は一緒に活動する。 ・
５	５　本時を振り返り，あいさつをする。	・本時の活動の感想を聞き，称賛の言葉をか次時への意欲を高める。	・頑張った児童に対し称賛の言葉かけをする。	・本時の活動についての称賛のコメントをする。

守谷小学校　第６学年外国語活動

授業者　ＨＲＴ　根本　尚希
ＡＬＴ　ジョナサン

題材名「一日の生活」

配時	学習活動及び内容	支援と評価　＊評価	
		ＨＲＴ	ＡＬＴ
5	１　あいさつをする。 Good morning. I'm fine ,thank you.And you? What time is it?を歌う。	・児童と一緒に元気にあいさつをし，歌を歌う。 Good morning. How are you?	・児童にあいさつをし，一緒に歌を歌う。 Good morning. How are you?
5	２　Warm-upをする。 T:　What time is it? C:　It's　(　　). ・模型の時計を使って練習する。	・発音が分からない児童のそばで一緒に発音する。	・活動に使用する絵カードを示しながら発音の練習をする。
10	３　前時の表現を確認する。 ・カードを見て英語で言う。 go to bed, take a bath, go home, eat dinner, go to school,など ・おはじきゲームをする。 ・おはじきが置いてある絵の語が発音されたら，おはじきをとる。 一日の生活を紹介しよう	・カードを見て児童と一緒に発音する。 ・意味が分からない児童に日本語で伝える。 ・活動の説明をする。 ・ALTと一緒にデモンストレーションをする。	・ジェスチャーを交えながら発音する。 ・おはじきを各グループに配る。 ・HRTと一緒にデモンストレーションをする。
20	４　自分の一日を紹介する。 ・ジャンケンに勝った人から先に質問をする。 ・インタビューをして、ワークシートに時刻を記入する。 What time do you (get up)? I　(get up)　at ~.	・活動の説明をする。 ・ALTと一緒にデモンストレーションをする。 ＊積極的に自分の一日を英語で紹介しようとしている。 (活動の様子) ・自分から声をかけられない児童に対しサポートする。	・HRTと一緒にデモンストレーションをする。 ・児童と一緒に活動に参加する。
5	５　本時の振り返りを行いあいさつをする。 See You. Thank you.	・本時の活動の感想を聞き，賞賛の言葉をかけ、次時への意欲を高める。	・本時の活動について，賞賛のコメントをする。

守谷小学校　資料

外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立黒内小学校

1　はじめに

本校では，守谷市の外国語活動（英語活動）が示す目標を受け，コミュニケーション活動の素地を養うということを全職員が認識し，児童が意欲的に活動し，楽しいと感じられる活動内容を考え，６年間を通しての系統的な学習内容に取り組んでいる。昨年度の反省を生かし，学級担任が主体となり，ALT を最大限に活用した授業内容を考え実践している。

2　実践

コミュニケーションを成り立たせるためには，「相手と意思疎通をしたい」という意欲と，自分の考えを表現するための素材がなければ成り立たないと考える。そのため，１単元４回の活動とし，前半では，目と耳で基本表現をインプットし，後半ではアウトプットをしての表現活動をする時間を設けている。活動内容は，生活に密着した内容で６年間を通してレベルアップしていくという系統性をもたせている。自己評価を行うことで，１回目の活動から４回目の活動で，各自がその変容を確認しながら，次の単元への意欲につなげられるような工夫も実践している。また，６年間使用する英語ファイルに自己評価カードやワークシートをとじることで，積み重ねを実感できるようにしている。（資料１）

【第５学年の実践例：What’s this?】

前半では，身の回りにある物の名前を具体物を用いて知る活動を行った。文房具や果物，野菜，教科の名前など日常生活に馴染みのある物を題材として学習を行ったため，児童は積極的な態度で活動に参加できた。フラッシュカードや中身が見えない箱の中に具体物を入れてさわって考えるという活動が有効であった。後半では，Hi,friends!や電子黒板を使っての内容で，アウトプットに力を入れた。ペアやグループ活動で，その物を説明させるという活動では，色や形など以前学習した表現を用いてヒントを与えることができた。（資料２，資料３）さらに，活動を通して，What’s this?に対しては It’s ～.で答えるという認識ができ，問答を正しく行うことができるようになった。

3　特例校としての取組

＜低学年＞外国語活動は，昨年度に引き続き，本校の生活科の目標の１つである「人との関わり」に力を入れた。声の大きさ，アイコンタクト，表情などはコミュニケーションの基本となる大切な要素である。日本語では当たり前にできることは，外国語でも同じであることを知らせ，実践させている。ALT と関わりを持つことで，異なる言語や文化をもつ人と違和感なくつきあえる貴重な体験となっている。基本を作る重要な時期であるため，活動内容もあいさつや数，色などゲームをしながら楽しく活動を行うことを意識し，取り組んでいる。

＜中学年＞低学年での活動を受け，さらに表現方法を増やし，より生活に密着した活動を行える内容に取り組んでいる。学級の中を街に見立て指示通りに行動したり，各自の家族を紹介したりと，普段の生活で行っていることを英語で表現する活動を行った。社会科との関連をはかり，国旗を調べて国名を当てたり，日本語での表現と英語での表現では，異なったりする言い方になることも学習した。探求的な活動を取り入れることで，児童が主体的に活動することができた。中学年から自己評価にメタ評価を取り入れ，次時への目標作りや意欲付けとなるようにしている。

4　成果と課題

クラスルームイングリッシュを積極的に用いて，学級担任が活動を主体的に行うという意識が高まった。また，パターン・プラクティスを行うことで基本的な表現方法を身につけることができ，その力が児童にとってさらなる意欲につながっている。

今後の課題は，６年間の活動をさらに深化させていくことである。児童の意欲を継続し，コミュニケーションの素地をしっかりしたものにさせるため，学年間での連携も図っていく必要がある。同じ事の繰り返しではなく，それまでの土台をもとに，新しい表現を用いることでレベルアップが図られるような活動を取り入れていきたい。

黒内小学校第２学年　英語活動案

指導者　　HRT　山﨑　由雅

ALT　ドナルド・アッシュ

題材名「number 」

	学習活動・内容	指導上の留意点・評価（◎）	
		HRT	ALT
2	1　あいさつをする	・一緒に活動し楽しく学習する雰囲気を作る。	・様々なあいさつを行い，学習の雰囲気を作る。
4	2　前時の復習をする。	・子ども達の中に入り活動に参加する。	・ピクチャーカードを用いて，１から２０までの復習をする。
5	3　仲間集めゲームをする。	・ゲームの理解が不十分な児童の支援をする。	・ゲームの説明をする。 ・１から１２までの任意の数をコールし，最後は二人組を作らせる。
2 6	4　ツイスターゲームをする。 ①　ＡＬＴのナンバーコールに従い，二人組で順々にカードに触っていく。手足以外がブルーシートに触ったら負け。勝敗が決まったチームは，ブルーシートの外で待つ。 ②　①と相手をかえる。代表一組が交互にナンバーコールを行い①と同様に行う。 ③ ①，②と相手をかえる。二人組でお互いにナンバーコールを言い合い勝敗を決める。	・代表児童一組を指名し，ALT の説明に従って模範をさせる。 ・ゲームにスムーズに参加できているか確認をし，やり方がわからない児童に支援をする。 ・代表者のナンバーコールをきちんと聞かせるように支援をする。 ・ＡＬＴのゲーム説明が理解できるように支援をする。 ◎ゲームの仕方を理解して，友達と仲良く取り組んでいる。	・ツイスターゲームの説明をする。 ・１から２０までの任意の数字を児童の様子を見ながらコールする。 ・代表一組に交互にナンバーコールをさせる支援をする。 ・互いに相手の状態を見ながら，交互にナンバーコールをすることを説明する。
6	5　ナンバーコールをして１から２０までの言い方の復習をする。３列に整列する。列ごとに１から順に数を言ったら座る。座ったら立つを繰り返す。	・はっきりと発音ができているか確認し，全員が集中して取り組めるように支援をする。	・全員を整列させ，列ごとにナンバーコールをさせる。 ・時間を計り，発表することで意欲を図る。
2	6　自己評価 7　終わりのあいさつ	・自己評価カードに記入をさせる。 ・児童と一緒に声を出し次の授業への意欲が高まるように終わりにする。	・児童の良かった点についてコメントをする。 ・終わりのあいさつを元気に行う。

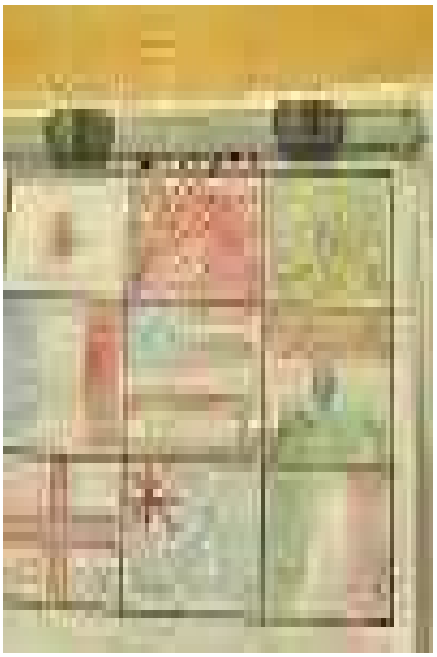
黒内小学校　第４学年　英語活動案

授業者　HRT　菊池　結花

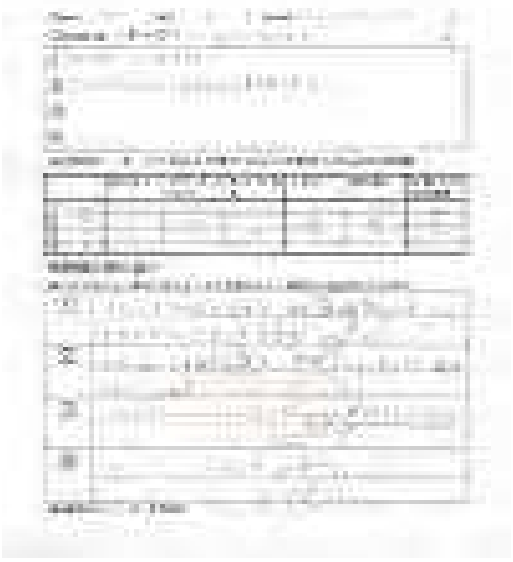
ALT　ケビン　シズマー

題材名　「direction」

	学習活動・内容	指導上の留意点・評価（◎）	
		HRT	ALT
3	1　あいさつをする。 （資料４）	・一緒に活動し，楽しく学習する雰囲気を作る。	・様々な国の挨拶を行い英語学習の雰囲気を作る。
１０	2　ウォーミング・アップ ① いろいろなあいさつ ② 気持ちを表すあいさつ	・やり方が分からない児童に声をかける。 ・ALT とデモンストレーションをする。 ・代表児童２名を選ぶ。 ・３人と対話をするよう指示する。	・ウォーミング・アップの指示を出す。 ・How are you? I'm good. の対話をするよう説明する。 ・児童と一緒にあいさつをする。
１５	3　本時の表現を確認する。 ② Left, Right, Go, Stop, Back の練習をする。 ③ ジェスチャーを交えて練習をする。	・児童とともに，大きな声で練習をする。 ・不安な児童には個別に練習をさせる。 ・児童とともに指示された方向を向きながら発音する。 ・机間巡視しながら，内容の理解が不十分な児童の支援をする。	・フラッシュカードを用いて，ジェスチャーをしながら本時の表現の練習をする。 ・活動内容を説明する。 ・direction の指示を出す。
１５	4　Classroom city をする。 ① 机やドアに標識を置く。 ② 指示を聞いて，スタートからゴールを目指す。	・聞き取れなかったり，やり方が分からない児童の支援をする。 ・デモンストレーションをする。 ・児童を指名する。 ◎相手の身振り手振りから伝えようとしていることを理解しようとしている。	・ゲームの説明を行い，教室を街に見立てることを知らせる。 ・デモンストレーションをする。 ・指示を出す。
	③ 指示を出す。	・聞き取る児童と指示を出す児童を指名する。 ・理解が不十分な児童の支援をする。	・指示を出して，友人を Goal まで行かせることを説明する。
1	6　自己評価	・本時の学習を振り返り，自己評価カードに記入させるせる。	・児童の良かった点についてコメントをする。
1	7　終わりのあいさつ	・児童と一緒に声を出し，次回への意欲につながるよう終わりにする。	・終わりの挨拶を元気に行う。



（資料１）英語ファイル

（資料２）５年生　ゲームをしながらの活動の様子

（資料３）自己評価カード（高学年用）

（資料４）４年生　様々な国のあいさつ

外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立御所ヶ丘小学校　担当　沼尻　政代

1　はじめに

児童は，外国語を通して「コミュニケーション能力」の素地を養うことを必要とされる状況にある。本校では，外国語（英語）を楽しく学び，外国の言語・文化・生活・習慣について理解を深められるようにＡＬＴと学級担任が協力して授業を展開してきた。また外国の文化を身近に触れられる環境づくりにも取り組んできた。

2　実践

（1）週１時間のＥタイム

本校ＡＬＴは配属３年目となり，児童の特性を良く理解しているＡＬＴと各学級担任が連携を取り合うことで，授業をスムーズに展開することができた。カードや写真，ワークシート，身体表現や音楽やゲーム等を授業内容に合わせて取り入れて，意欲・興味・関心を高められる授業を実践してきた。

（2）ワールドルームの整備

ＡＬＴの母国の様子を掲示したり，ハロウィーンやクリスマス等のイベント毎にワールドルームの掲示の工夫を行った。

（3）校内環境の整備

階段スペースを利用して，アルファベットの各音で始まる動物を絵とスペルで表示して，児童の目に自然と英語が飛び込んでくる環境を作った。掲示板「Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｃｏｒｎｅｒ」には，授業の様子の写真を貼り他学年児童や保護者にも活動の様子が分かるようにした。

（4）英語クラブの新設

児童の希望により，本年度より「英語クラブ」を新設した。英会話や英語を取り入れたゲームを行い，楽しく活動してきた。

3　特例校としての取組

＜低学年＞生活科のねらいに迫った取組

・簡単な自己紹介をしたり，自分の体調を伝えたり，相手に尋ねたりする表現を知る。（自分自身に関すること・自分と身近な人々とのかかわり）
・英語での天候の言い方，動物や昆虫の言い方，野菜や果物の言い方を知る。（自分と自然とのかかわり）
・ハロウィーンやクリスマスなどの文化に触れ，それらに関連のある活動を体験する。（自分と社会とのかかわり）

＜中学年＞総合的な学習の時間のねらいに迫った取組

・自らのことを話したり，相手のことを知ろうとして質問をしたりする。（自ら考える能力）
・グループ対抗のゲームや活動を行う。（協同的に取り組む態度）
・ＡＬＴの母国の自然や文化について知る。（国際理解）
・ハロウィーンやクリスマスなどの文化に触れ，jack-o′-lanternやクリスマスの飾りを制作する。（協同的・創造的に取り組む態度・国際理解）

4　成果と課題

授業を通して，児童の外国語（英語）に関する興味・関心が育ってきている。ゲームや体験活動を多く取り入れているので外国語の時間を楽しみに感じている児童も多い。保護者に実施したアンケートの結果からは，授業を参観して「児童がもっと英語について知りたいと思っているという意欲が感じられた。」「Ｅタイムは国際理解に役立っている。」という回答が見られ，外国語活動の必要性や良さを感じていることがわかった。

児童は「コミュニケーション能力」を身に付ける入り口に立っている状態である。児童一人一人から発せられる挨拶や受け答えの言葉に，もっと自信を持たせていきたい。週１時間の外国語活動の時間の他に，教育活動全体の中で外国語によるコミュニケーション能力の素地が育成される活動に取組んでいきたい。

第２学年１組　英語活動指導案

指導者　ＨＲＴ　大場　哲子
ＡＬＴ　Steve　Aitchison

題材名「What is the time?」

学習活動・内容	指導上の留意点・評価	
	ＡＬＴ	ＨＲＴ
1　あいさつをする。 Good morning. How are you? I´m__. How´s the weather?	・全体に挨拶をする。 まずＡＬＴが児童に質問し次に児童が教師に質問する。	ＨＲＴ自らが大きい声で挨拶をすることで模範を示す。 英語を話すことに消極的な児童に対して支援にあたる。
2　ウォームアップのゲーム(Higher/Lower)を行う。 ・ １～６０までの数字の言い方の復習を行う。 ・ ゲームのやり方を知る。 ・ 児童が数字を選んで，その数字がHigherかLowerを質問して「Yes/No」で答えて数字を当てる。ぴったり当たるまでやり，当てた人がチャンピオンとなる。	ＡＬＴが先に１～６０までのカードを黒板に掲示しながら発音をする。 Higher/Lowerのゲームを行うことを告げる。 ゲームのやり方を英語で説明する。	児童と一緒にＡＬＴの後について１～６０までの数字の発音をする。 数字を選ぶ児童と一緒に廊下に出て，ゲームの補助をする。
3　時計をよむ。 What　is the time? ・ 大型の模型時計を使って，時刻をよむ練習をする。	大型時計を使って，時刻の読み方を発音する。 何時だけでなく，何時何分の問題も出すことで，レベルアップを図る。	児童と一緒にはっきりと発音し練習する。
4　カードゲームをする。 ・「What　is the time?」と質問し合い、同じカードを持っていた人とペアになりすわる。	ＡＬＴがゲームのやり方を英語で説明する。 What　is the time? Ｉｔ´ｓ　～.	ＡＬＴと一緒に，ゲームをやってみせる。 日本語ではなく英語で質問するようにさせる。
	㊎　何時ですか？（What　is the time?）が言え，何時です。（Ｉｔ´ｓ　～.）が答えることができる。(観察)	
5　体で時計をつくる。 （ Body Clocks) ・５，６人のグループになり，体で時計を表現し，時刻を表す。	Body Clocksのやり方を英語で説明する。	ゲームの運営を手助けする。
6　あいさつをする。 Thank you. Good-bye.	・あいさつをする。 Thank you. Good-bye.	児童と共に元気にあいさつし，次時の活動への意欲付けを行う。

第３学年１組　英語活動指導案

指導者　ＨＲＴ　武田　久枝
ＡＬＴ　Steve　Aitchison

題材名　Animal sounds

学習活動・内容	指導上の留意点・評価	
	ＡＬＴ	ＨＲＴ
1　あいさつをする。 Good morning. How are you? I´m__. How´s the weather?	全体に挨拶をする。 まずＡＬＴが児童に質問し次に児童が教師に 質問する。	ＨＲＴ自らが大きい声で挨拶をすることで模範を示す。 ＡＬＴの質問に答える。 英語を話すことに対して消極的な児童の支援にあたる。
2　ウォームアップのゲームを行う。 (Cock-A-Doodle-Do Janken) ・ゲームのやり方を知る。 Rock,Paper,Scissors,Cock-A-Doodle-Do　と言いじゃんけんをして，負けたら座っていきチャンピオンを決める。	Cock-A-Doodle-Do Jankenをすることを英語で知らせる。 「Cock-A-Doodle-Do」は，雄鳥の鳴き声であることを絵を使って確認する。	ＡＬＴと共にじゃんけんを行い，やり方の説明を日本語で補足する。
3　動物の鳴き声あてクイズをする。 動物の写真を隠して少しずつ見せていき,動物の名前と鳴き声を答える。	１５種類の動物の写真を用意して，クイズを出す。 それぞれの動物毎に鳴き声を確認してから，次のクイズに移るようにする。 Ｗ－woofwoof(dog) Ｒ－ribbitribbit(frog) ＣＨ－cheepcheep(chick) の発音を意図的に入れて，英語の発音の基礎に気付かせる。	動物の鳴き声を児童と一緒に発音する。 英語で発音することに躊躇している児童や恥ずかしがっている児童のそばに行き支援にあたる。
4　歌を歌う。 「Old Mac Donald Song」を歌う。	写真を見て，鳴き声を言う練習をしてから，歌う。	児童と共に歌い，楽しい雰囲気を作りだす。
5　ジグソーパズルをする。 ・動物のパズルを組み立てて，その動物の鳴き声を言ったら，ゴールという遊びをする。		グループで協力し合って活動ことを確認する。
	㊐評　同じ動物でも，英語と日本語では鳴き声が違うことが分かる。(国際理解・観察)	
6　あいさつをする。 Thank you. Good-bye.	・あいさつをする。 Thank you. Good-bye.	児童と共に元気にあいさつし，次時の活動への意欲付けを行う。

Eタイムの授業の様子

English Cornertと
階段を利用した英単語の環境

英語クラブの活動の様子
プールで行ったクラブの日

ハロウィンについての授業の様子

イースターについての授業の様子

体で時計を作る活動

動物パズル

外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立郷州小学校

1　はじめに

本校では，外国語（英語）活動の時間を心待ちにし，本校勤務４年となるＡＬＴに親しみを感じている児童が多い。ＡＬＴの協力を得て，授業以外の休み時間や給食，清掃の際にも，ＡＬＴとふれあう時間を確保している。また，子どもに英語を身につけさせたいと考えている保護者も多く，放課後等に英語教室に通ったりする児童も比較的多い。そのような思いを受けて，通常の外国語（英語）活動の授業はもちろんのこと，それ以外の日常の場面においても，充実した外国語（英語）活動の実践を心がけたいと考える。

2　実践

本校では，児童の外国語（英語）や各国，異文化への興味・関心を高めるために，主に以下のような取り組みを行っている。

（１）世界のあいさつ

毎月１つずつ言語を取り上げ，「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」「どういたしまして」などの言い方を，全学級で掲示している。また，定期的に朝の会・帰りの会で各言語のあいさつをしたり，連絡帳提出の際に，「ありがとう」「どういたしまして」を各言語で言ったりするなどして，さまざまな言語に親しみを持てるようにしている。（資料１）

（２）ワールドキャラバン

今年度は，国際理解を喚起するために，高学年の児童を対象に「ワールドキャラバン」（国際交流協会主催）に参加した。当日は，インドネシア人の方が講師として来校し，インドネシアの食べ物や動物，遊びや歌，小中学生の様子などについて，日本の文化と比較しながら，分かりやすく説明してくれた。写真を見たり，実際に児童も現地の遊びや歌を一緒に行ったりすることで，楽しみながら，異文化への興味・関心を高めることができた。（資料２）

（３）校内掲示物

校内各所に，国際理解を喚起するための掲示物を掲示している。例えば，多くの児童が通る職員室や英語ルームの廊下には，世界各国の祭りや動物を紹介する掲示物や，世界地図と国旗，首都名，人口，面積などをクイズ形式で掲示したりしている。（資料３）

3　特例校としての取組

＜低学年＞　生活科のねらいに迫った取組

２年生の「家族を紹介しよう」という単元では，家族についての英語表現を知った後に，それを使って家族を紹介する活動を行った。また，１年生においては，６年生に英語を教わるという活動を行い，異学年による交流の機会を設けた。（資料４）

＜中学年＞　総合的な学習の時間のねらいに迫った取組

「世界のお祭りを知ろう」という単元では，いくつかの国々で行われているお祭りについて紹介し，それに関連した工作活動やゲームなどを行い，異文化に対する興味・関心を高める活動を行った。また，質問の仕方を学習する単元では，自分で質問を考えてお互いの好きな物等を質問し，伝え合う活動を行った。

4　成果と課題

ワールドキャラバンへの参加は，児童の異文化や諸外国への興味・関心を高めることができた。こういった機会を今後も積極的に設けていきたい。また，今年度初めて６年生が１年生に英語を教えるという活動を取り入れた。外国語（英語）を活用して，相手意識をもったコミュニケーションをすることができたとともに，外国語（英語）使う必然性も生まれ，よい機会となった。

生活科や総合的な学習の時間との関連については，それぞれのねらいに迫るため，さらに活動内容を工夫できるよう研修を深めていきたい。また，６年間の系統的な活動を心がけたい。各学年の活動内容に関連性と発展性を持たせることで，児童の学習意欲を持続させるとともに，活動内容の充実を図れるよう努めていきたい。

郷州小学校　第１学年　英語活動案

授業者　ＨＲＴ　鈴木　愛香
ＡＬＴ　Peter Traylor

単元名「動物園に行こう」　　（㊐…評価　＜手立て＞…Ｃ評価児童への支援＞）

時	活動・内容	支援・評価	
		ＨＲＴ	ＡＬＴ
2 5	1　はじめのあいさつをする。 “Please, stand up.” “Good morning.”　　等	・児童と一緒に元気にあいさつして，模範を示す。	・担当の児童を支援し，一緒にあいさつをする。
5	2　あいさつを交わしながら名札を受け取る。 “Good morning. How are you?” “I’m great / good, etc…How are you?” “I’m great / good, etc…Here you are.” “Thank you.”	・一人一人とあいさつを交わしながら，名札を配布する。 ・待っている児童には，静かに待つよう指示する。	・一人一人とあいさつを交わしながら，名札を配布する。 ・正しく挨拶できた児童には，称賛の声をかける。
5	3　ウォーミングアップとして，あいさつゲームをする。 ・児童同士で自己紹介をしてからじゃんけんをし，勝ったら名前を相手の名前になる。（名前を交換する。） “Hello，My name is ○○.”．	・ALT と共にデモンストレーションを行いながら，ゲームのやり方を説明する。 ・児童と共に積極的にゲームに参加し，模範を示す。	・HRT と共にデモンストレーションを行いながら，ゲームのルールを説明する。
2	4　本時の活動内容を知る。 「動物園に行こう！」 ・動物の表現について学習することを知る。	・児童の反応を見ながら，必要に応じて補足する。	・動物の言い方について学習することを伝える。
6	5　フラッシュカードを使って動物の言い方やジェスチャーを確認する。 ・cow（牛）・snake（へび）・pig（豚） ・lion（ライオン）・dragon（ドラゴン） ・monkey（猿）　　など	・フラッシュカードを提示しながら，ALT と共に本時に扱う単語を紹介する。	・本時に扱う単語を紹介し，ジェスチャーと併せて，発音する。 ・積極的に発言，発声している児童を称賛する。
15	6　学習した単語を使って，進化ゲームをする。 ・全員へび（ジェスチャー有）から始まり，自己紹介をしてから，じゃんけんをする。勝ったら，へび→豚→牛→猿→ドラゴンの順に進化していく。負けると進化できない。 ・ドラゴンになって負けると，へびに戻る。 “Hello，I am snake. Nice to meet you.” “Hello，I am pig. Nice to meet you, too” “One, two three!”（じゃんけん）	・ALT と共にデモンストレーションを行いながら，ゲームのルールを説明する。 ㊐積極的にゲームに参加し，学んだ表現を使って友達とコミュニケーションをとることができる。（行動観察） ＜手立て＞ゲームの相手となって言い方を復唱させ，励ましながら取り組みを称賛して，自信を持たせる。	・HRT と共にデモンストレーションを行いながら，ゲームのルールを説明する。
10	7　本時のまとめと終わりのあいさつをする。 ・振り返りカードを記入する。（資料５） ・終わりのあいさつをする。	・始めの体型に並び替える事を伝える。 ・本時の良かった点を称賛し，次時への意欲を高める。 ・担当の児童を支援し，一緒に挨拶をする。	・本時の活動で良かった点を称賛する。 ・児童と一緒に元気に挨拶して，模範を示す。

郷州小学校　第５学年　外国語活動案

授業者　ＨＲＴ　川村　修平
ＡＬＴ　Peter Traylor

単元名「買い物をしよう」　　（㊙…評価　＜手立て＞…Ｃ評価児童への支援＞）

配時	活動・内容	支援・評価	
		HRT	ALT
2	1　はじめのあいさつをする。 “Please stand up.” “Good morning.”　　等	・児童と一緒に元気にあいさつをすることで模範を示す。	・日直の児童とともにあいさつをする。日直の児童を支援する。
9	2　あいさつを交わしながら，友達から名札を受け取る。 A:“Good morning! How are you?” B:“I’m great /ok /sick.” etc… A:“Here you are.” B:“Thank you.”	・名札を渡す担当の児童を意図的に指名する。 ・児童の傍で助言するとともに，待機している児童には静かに待つよう伝える。	・児童の近くで助言をしながら，うまくコミュニケーションをとれた児童を称賛する。
1	3　本時の活動内容を知る。 「Let’s cook the curry and rice!」 （カレーライスを作ろう）	・本時の活動内容を板書し，目的意識をもたせる。	・お店での英語表現をについて練習する活動であることを伝える。
5	4　フラッシュカードで食材の名前を確認する。 Rice（米）　Potato（ジャガイモ） Carrot（ニンジン） Onion（たまねぎ）　Meet（肉） curry roux（カレールウ）	・児童と共に発声し，模範を示す。 ・ALT と交代で食材の絵カードを提示する。 ・必要に応じて日本語で説明を補足する。	・本時に扱う単語を紹介し，発音する。 ・積極的に発言、発声している児童を称賛する
２０	5　Exchange　Game をする。 ㊟カレーの食材カードを集めるために，自分の欲しい食材カードを持っている友達に要求を伝える。 A:”Hello!” B:”Hello!” A:”I want ○○.What do you want?” B:”I want ○○.” A:”Here you are.” B:”Thank you. Here you are.” A:”Thank you.”	・ALT と共にデモンストレーションを行い，児童の理解状況に合わせ日本語で説明を補足する。 ㊙学んだ表現を用いて進んで友達に話しかけ，積極的にゲームに参加している（観察） ＜手立て＞児童の傍で一緒に声を出しながら励まし，取り組みを称賛する。	・HRT と共にデモンストレーションを行いながら，ゲームのルールを説明する。
8	6　本時のまとめと終わりのあいさつをする。 ・本時を振り返り，振り返りカードに記入する。（資料６） ・終わりのあいさつをする。	・振り返りカードにある５つの視点で，振り返るよう促す。 ・よかったことを称賛し，次時への意欲付けを行う。	・本時の活動でよかった点を称賛する。 ・日直とともに終わりのあいさつをする。

（資料１）「世界のあいさつ」学級掲示

（資料２）ワールドキャラバン活動の様子

（資料３）英語ルーム前掲示物

（資料４）１年生と６年生の交流授業の様子

（資料５）振り返りカード（低学年用）

（資料６）振り返りカード（高学年用）

外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立松前台小学校

1　はじめに

本校の外国語活動（英語活動）は，守谷市の目標を受けて「外国語活動を通じて，言語，文化，生活，習慣などに対する理解を深め，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り，外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ中で，児童同士が楽しく学び合える力を育成する。」を目標にしている。これまでの取り組みをふまえて,外国語を用いた活動の中で，さらに児童同士が話し合ったり，協力したりする活動を意図的に仕組み，コミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図ってきた。

2　実践

まず，外国語活動（英語活動）の目標や活動について共通理解を図るために，校内研修を行った。今年度配付された，独立行政法人：教員研修センターの「新学習指導要領に対応した外国語及び外国語科の授業実践事例映像資料」を視聴し，「初めて文表現に出合う単元の内容」をテーマにした授業について考えた。「本単元を通してどのような子どもを育てたいと考えているか。」「学級担任の役割は何か。」「活動においてどのような工夫を行ったか。」について協議を行った。学級担任が主となって充実した授業を組み立てることができるように研修を積むことができた。

５・６年生の授業では，“Hi! Friends!”を基本として授業を行ってきた。ＤＶＤを児童の実態と発達段階に会わせて活用できるようにした。提示の仕方を工夫することで，児童の知的好奇心を喚起することができ，興味・関心をもって授業を行うことができた

3　特例校としての取組

〈低学年〉・身近な人々とのかかわり

単元名「生きもの大すき」「昆虫大すき」「野菜大すき」

生活科の時間にザリガニなどの観察・飼育を行って生き物にふれ合った。また，なすやトマトなどの野菜を育て，野菜にも興味をもつことができた。生き物や野菜を英語ではどのように言うのかについてＡＬＴから教えてもらい，楽しく活動することができた。

〈中学年〉・探求的な活動

単元名「福祉：手と心でふれ合おう」英語活動単元名【ジェスチャーで遊ぼう】

３年生で福祉について学び，様々な表現方法について知ることができた。その際、言葉以外の表現でジェスチャーがあることが分かり，英語でもジェスチャーを用いて思っていることを伝えたり，相手の気持ちを想像したりすることができることに気付いた。心と心をつないでいくコミュニケーションの方法は，日本も外国も共通していることが分かったことは，貴重な学びであった。

4　成果と課題

〈成果〉

・学級の実態を最も良く理解している学級担任が，授業を組み立てることの大切さを研修を通して改めて各担任が感じることができ，授業改善に役立った。
・低学年では，生活科の時間で行う内容が英語活動と重なる部分が非常に多くあり，興味をもって英語に取り組む児童が多くなった。

〈課題〉

・中学年での総合的な学習での調べ学習と英語活動をさらにつなげていけるような計画を立て，実践していきたい。国際理解的な内容を総合的な学習のテーマに加えることを検討したい。

守谷市立松前台小学校　第２学年　外国語活動指導案

指導者　ＨＲＴ　嶋内　早苗

ＡＬＴ　ケビン　デイビス

題材名「やさい大すき」

時間（分）	活動形態	活動内容	支援と評価（○は評価☆は言語力向上に向けた手立て）	
			ＨＲＴ	ＡＬＴ
5	一斉	1　あいさつをする。 ＡＬＴの質問に答える。 How are you? How's the weather?	・あいさつに答える児童を指名する。 ・ＡＬＴと共に手本を示す。	・あいさつ，天気に関する質問をする。 ・ＨＲＴと共に手本を示す。
3	個人	2　質問ゲームをする。 ミニ teacher の質問に答える。 How are you? How's the weather? What's this？	・答え方が分からない児童には，見本の発音をするなど支援する。	・カードを見せながら正しい発音のモデルを示す。 ・ミニ teacher に質問の仕方を教える。
3	一斉	3「I can sing a rainbow.」を歌う。 リズムに乗って歌いながら，ウォーミングアップする。	・リズムに乗って楽しくできた児童を賞賛する。	・ジェスチャーを交えながら，児童と一緒にリズムに乗って歌う。
5	一斉	4　前時までの復習をする。（チャンツ） ・　絵カードを見ながら，リズムにのって行う。 potato　green pepper　tomato eggplant　onion　carrot　pumpkin	・ＡＬＴの手本の後について大きな声ではっきりと発音できるように声をかける。 ・野菜の言い方については発音が日本語的にならないようにアクセントに注意させる。	・絵カードを示しながら発音をする。難しい発音は繰り返し手本を示す。
5	一斉	5　今日の活動を確認する。 やさいカードをあつめよう！ ・　ＨＲＴとＡＬＴの役割演技で本時のゲームの仕方を知る。 ・　英語表現の練習をする。 What vegetable?　Tomato.	・今日の活動を話し，意欲をもたせる。 ・ＡＬＴと共に手本を示す。 ・英語表現の練習ではスムーズに言えるように何度も練習させる。 ○ゲームで使う表現の練習をすることで，英語に親しもうとしたか。（観察）	・ＨＲＴと共に手本を示す。 ・児童がよく分からなかった表現をゆっくり言う。
１２	グループ	6　野菜カードあつめゲームをしよう。 What vegetable? Tomato,please.　Thank you.	・多くの友達とコミュニケーションをとるために，いろいろなグループに行き，たくさんのカードを集めるように話す。 ☆児童を賞賛しながら，ＡＬＴと共に質問の仕方，答え方の分からない児童の支援をする。 ○ゲームで，友達やＡＬＴ，HRTと進んでコミュニケーションをとろうとしていたか。（観察）	☆質問の仕方，答え方の分からない児童の支援をする。
5	一斉	7　活動の振り返りをする。 振り返りの感想を発表する。	・今日の活動で，英語のリズムを意識できたか，自分の思いを相手に正しく伝えられたかについて振り返るように話す。	・活動の中で，良かったこと，感じたことを話す。
5	個人	8　ポイントカードにスタンプをもらう。 How many points?	・スタンプをスムーズにもらえるように支援する。 ・片付けがスムーズに行えるように声をかける。	・スタンプを押す児童を指名する。ポイントの数の聞き方を支援する。
2	一斉	9　あいさつ	・児童を整列させ，あいさつをさせる。	・終わりのあいさつをする。 ・元気にあいさつをし，楽しく終える。

守谷市立松前台小学校　第５学年　外国語活動指導案

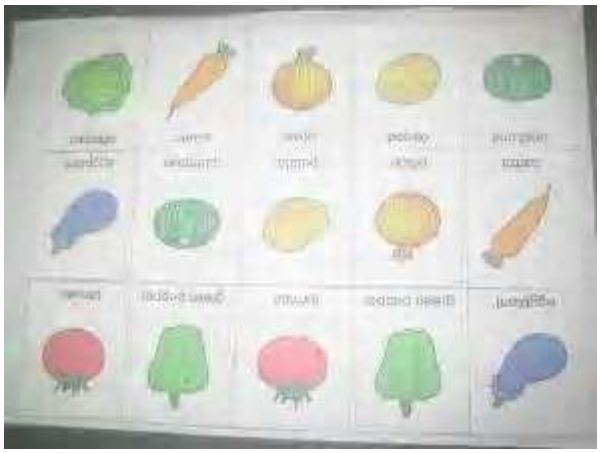
指導者　ＨＲＴ　大堀　玲子

ＡＬＴ　ケビン　デイビス

題材名「I like apples.」

時間（分）	活動形態	活動内容	支援と評価　（○は評価） ＨＲＴ	ＡＬＴ
5	一斉 グループ	1あいさつをする。 ＡＬＴの質問に答える。 2あいさつゲームをする。 ・各グループで列を作り，“Do you like～？”と“Yes, I do.”“No, I don't.”で簡単な会話をする。	・あいさつに答える児童を指名する。 ・日付・曜日を掲示する。 ・答え方が分からない児童を支援する。	・あいさつ，天気，日付，曜日に関する質問をする。 ・グループのリーダーに質問の仕方を教える。
3	一斉	3チャンツをする。 ・ジェスチャーを入れ，リズムに乗って行う。 “ I like apples.”　“Do you like？”	・ＡＬＴと共に手本を示す。 ・リズムに乗って楽しくできた児童を賞賛する。	・HRＴと共に手本を示す。 ・児童と一緒にリズムに乗って行う。
5	一斉	4今日の活動を確認する。 **Let's enjoy！Bingo＆Chant!** ・どのように取り組んだら，楽しめるか考える。 進んで話しかける　笑顔で 意見を出す　協力する 英語のリズムで　　など	・ビンゴゲームの進め方を ALT とのデモンストレーションで示す。 ・チャンツの作成をすることも話し，意欲を高める。	・HRT とともにデモンストレーションを行う。 ・Good Gesture Clear Voice Nice smile　が大切だということを話す。
7	個人	5ビンゴゲームをする。 ・“Do you like?”“Yes, I do.”“No, I don't.”で会話をし，ビンゴシートに記入する。縦・横・斜めがそろったらビンゴとする。	・自分から進んで話しかけられない児童の支援をする。 ○ビンゴゲームで，積極的に話しかけ，会話を楽しんでいる。（観察・振り返りカード）	・児童と一緒に活動し，良い話し方をほめる。
１５	グループ	6オリジナルチャンツを作る。 ・児童４～５人＋ALT１～２人のグループを作り，食べ物か動物，スポーツでチャンツを作り，発表する。（計　８班） （話し合いの時間：１０分） （発表は，１班３０秒程度） Do you like ○○? No, No, No, I don't. I don't. like ○○. I like ○○.　I like ○○. I like ○○.　I like ○○. ※人数によって内容を加えたり，工夫したりしても良いこととする。	・チャンツの基本の型にそって，自分たちの好きなように言葉を変えてよいことを話す。 ・自己紹介をするように話す。 ・発表がスムーズにいくよう順番を指示する。 ・必要に応じて絵カードを配る。 ○自分の好きなものをチャンツにして生き生きと表現している。　（観察）	・手本のチャンツを示し，児童の作ってみたいという意欲を高める。 ・他校の ALT に声をかけ，活動がスムーズにいくようにアドバイスする。 ・発表の際には，よくできていた班を賞賛する。
5	一斉	7活動の振り返りをする。 ・振り返りカードに反省を書く。 ・自分の目標について振り返る。 ・感じたことを発表する。	・児童を指名する。 ・良かったことをほめ，自信をもたせる。	・活動で感じたことを，英語とジェスチャーで話す。
3 2	個人 一斉	8ポイントカードにスタンプをもらう。 9あいさつをする。	・スタンプをスムーズにもらえるように支援する。 ・児童を整列させ，あいさつさせる。	・児童一人一人と短く会話し，スタンプを押す。 ・元気にあいさつし，楽しい雰囲気で終える。

（資料１）２年生「やさい大すき」の活動
活動で使用したビンゴカードと野菜絵カード



（資料２）５年生「外来語を知ろう」活動の様子　各校のＡＬＴと初対面ながら一緒にチャンツを作っています。

（資料３）活用した絵カード

振り返りカードに気付いたことを記入しています。

言葉や文化で気付いたことを発表し，共有します。

外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立松ケ丘小学校

1　はじめに

本校では，外国語活動を通して，「コミュニケーション能力の素地を養う」ことを目標とした様々な教育活動に取り組んでいる。特に，週１時間の外国語（英語）活動の時間「こくさい」においては，ALT や HRT と共に英語を使った言語活動や文化に対する体験的な活動を取り入れながら，英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目指している。

１年生から英語活動を取り入れることによって，系統的・段階的に外国語を学ぶことができるとともに，異なる文化をもつ ALT との交流を通して，体験的に外国の文化等の理解を深めることができると考える。

2　実践

〈イングリッシュコーナーの設置〉

児童が自由に英語に慣れ親しむことができるよう，各教室及び廊下や階段にイングリッシュコーナーを設置している。学年の発達段階に応じて掲示内容を考慮し，児童の興味・関心が高まるよう工夫している。

〈保護者への授業公開〉

授業参観で３学年の英語活動の時間を保護者に公開した。活動の様子を実際に参観してもらうことで，保護者の理解を深めることができた。

〈６年生が先生になって１年生を教える〉

６年生が先生となり，１年生に英語を教える活動を行っている。１時間の英語の授業を７コマに分けて，グループ毎に分担して教えていく。６年生は，挨拶，歌，コミュニケーション活動等を実際に英語で教える体験を通して，英語をより深く学ぶことができる。

〈クリスマス集会〉

市内小中各校の ALT をゲストティーチャーとして本校へ招き，５年生とクリスマス集会を行った。ALT の自己紹介やインタビュー，クイズやゲームなどを通して，楽しくコミュニケーションを図ることができた。

3　特例校としての取組

〈低学年〉

生活科の時間と関連して，自然との関わりとしては，天気や生き物の名前を知り，歌やゲームを通して覚えていく活動を取り入れた。また，身近な人々との関わりとしては，自己紹介（名前や好き嫌いなど）や家族の紹介などを通して，友だちと仲良く挨拶する学習を取り入れて楽しく活動した。

〈中学年〉

総合的な学習の時間と関連して，国際理解に関する学習を行った。世界の国々の位置や気候，国旗や貨幣，文化や風習，建物や動物等を写真や実物を用いて英語で紹介したり，クイズをしたりする活動を取り入れ，楽しくコミュニケーションを図りながら異文化理解を深めた。

4　成果と課題

児童の英語に対する興味・関心は非常に高く，ALT と英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童が非常に多い。授業では，「ノー　ジャパニーズ！」を徹底し，学習した英語表現を用いて，英語のみでコミュニケーションを図ることを意識付けている。児童のリスニング力も向上しており，ALT の英語での指示をしっかりと聞き取り，内容を理解することができるようにもなった。

今後の課題としては，実践的コミュニケーション能力の育成をより効果的に図ることである。週１時間の外国語（英語）活動の時間と，生活科や総合的な学習の時間との関連を含めて年間計画を見直し，体験的な理解を深めながらコミュニケーション能力の素地を養っていきたい。

松ケ丘小学校　第４学年　英語活動案

授業者　HRT　　窪木　美穂
ALT　　Paul de Giovanni

単元名　　「何歳ですか？「How old are you?」

学　習　活　動	☆指導・支援の留意点　◎評価	
	HRT	ALT
1　Greeting　挨拶をする。 （1）全体ではじめの挨拶をする。 「Stand up. Stand nicely. Be quiet. Let's start. Bow.」 （2）Little teachers（児童２人）が前に出て，今日の体調や曜日，日付，天気などのQ&Aを行う。 Hello. How are you? － I'm ~(fine/ good/ happy…). What day is it? － It's　Friday. What's the date?　－ It's October　7th. How's the weather? － It's ~(sunny/ cloudy/ rainy).	・笑顔で明るく挨拶し，楽しく授業が始められる雰囲気を作る。 ・Little teachersとして児童２人を選ぶ。自信をもって質問できるよう支援する。	・明るく大きな声で声をかけ，児童が元気に挨拶できるようにする。 ・Little teachersの隣で，応答表現がスムーズに行えるよう支援する。
2　Warm Up　ウォームアップをする。 歌『Seven　Steps』を歌う。	・一緒にリズムを取りながら大きな声で歌い，雰囲気を盛り上げる。	・手拍子やジェスチャーを入れて，楽しく歌えるようにする。
3　Presentation　and　Activities　本時の課題提示と活動 何歳ですか？「How old are you?」 （１）年齢の聞き方や答え方について練習する。 A :How old are you？ B:I'm (1~12). （２）お互いに年齢を聞き合う。 ５人に年齢を聞いた後で元の位置に座る。 （３）「カード交換ゲーム」を行う。 【活動内容】 ①全員が１枚ずつカードを持つ。 （1～12の数字が書かれたカードをランダムに配る。中に数枚のジョーカーを入れておく。どんなカードを持っているかは友達に言わないように指示しておく。） ②教室内を回り，相手を見つけて年齢を尋ね合う。 ③ A :How old are you？ B:I'm ～. （持っているカーの数字で答える。ジョーカーを持っている児童は好きな数字で答える。）	・ALTと共にデモンストレーションをし，年齢の聞き方や答え方を示す。 ・教室全体を巡視し，つまずいている児童にはALTの口の形や発音を真似るように声をかける。 ☆ジェスチャーなども入れることで，相手により伝わりやすくなることを伝える。 ◎　大きな声で発音し，進んで友達と関わり合おうとしている。　（観察）	・ゲームの進め方を英語で説明し，HRTとともにデモンストレーションを示す。 ・年齢の聞き方や答え方の表現を児童が聞き取りやすいように，ゆっくりと発音しながら，理解を促す。 ☆大きな声でしっかり発音している児童を賞賛し，自信を高めるようにする。
4　End of Lesson　振り返りと終わりの挨拶をする。 （1）今日の活動を振り返り，お互いの頑張りを分かち合う。 （2）終わりのあいさつをする。 「Stand up. Stand nicely. Be quiet. Let's finish. Bow. Thank you, teacher.　See you .」	・活動に意欲的であった児童を発表し，今後の学習に対する意欲を高めるようにする。	・本時の活動で良かったところを具体的に認め，児童の英語に対する意欲を喚起する。

松ケ丘小学校　第６学年　外国語活動案

授業者　HRT　野口　美紀子
ALT　Paul de Giovanni

単元名　　「My　dream　～将来の夢を紹介しよう～」

学　習　活　動	☆指導・支援の留意点　◎評価	
	HRT	ALT
1　Greeting　挨拶をする。 「Stand up. Stand nicely. Be quiet. Let's start. Bow.」	・笑顔で明るく挨拶し，楽しく授業が始められる雰囲気を作る。	・明るく大きな声で声をかけ，児童が元気に挨拶できるようにする。
2　Warm Up　“チャンツ”をする。 【Let's Chant!】 “Where do you want to go？/I want to go to (国名)."	・声の出ていない児童の隣で一緒にリズムを取り，安心して行なえるようにする。	・手拍子やジェスチャーを入れて，リズムに乗って楽しく練習ができるようにする。
3　Presentation and Activities　本時の課題提示と活動 友達の夢をインタビューしよう！ （１）本時の基本的な表現を練習する。 A：What do you want to be？ B：I want to be a ～. A：Why? B：Because I like / can～. （２）“インタビューゲーム”をする。 【活動内容】 ①各自に番号付きのビンゴ形式ワークシートを配布し，将来就きたい職業とその理由を書く。 ②相手を見つけてジャンケンをし，勝った方からインタビューする。 ③尋ねた方は，相手のワークシートの番号を聞いて，当てはまるビンゴの枠に名前と聞き取った職業名を書く。 ④各自インタビューした人数(1人につき1ポイント)とビンゴ(1列につき5ポイント)の合計を出す。グループ全員の得点を合計し，一番ポイントの多かったグループをチャンピオンとする。	・教室全体を巡視し，つまずいている児童にはALTの口の形や発音を真似るように声をかける。 ・大きな声で発音している児童を賞賛し，自信のない児童にはそばで一緒に発音するなど励ましながら練習ができるように支援する。 ☆友達に分かるように大きな声ではっきりと発音するよう意識させる。 ◎　進んで将来の夢とその理由を話したり，友達の夢を聞いたりしている。（観察）	・基本的な表現の正しい発話を分かりやすく示し，後について発音させる。児童が聞き取りやすいように，ゆっくり，はっきりと発音しながら，理解を促す。 ・インタビューの進め方を英語で説明し，HRTとともにデモンストレーションを示す。 ☆友達と相談する際も日本語ではなく英語やジェスチャーを使って伝え合うよう指示する。
4　End of Lesson　振り返りと終わりの挨拶をする。 （1）インタビューゲームで優勝したチームと，よく頑張っていた児童を発表し，全員で賞賛し合う。 （2）終わりのあいさつをする。 「Stand up. Stand nicely. Be quiet. Let's finish. Bow. Thank you, teacher.　See you .」	・活動に意欲的であったグループを発表し，今後の学習に対する意欲を高める。	・本時の活動で良かった点を具体的に認め，児童の英語に対する自信を高めるようにする。

〈資料１〉Q&A・ウォームアップの様子

〈資料２〉ＡＬＴとの交流活動

〈資料３〉板書・ワークシート

□　中学校実践事例　□

外国語の実践

守谷市立守谷中学校

1　はじめに

本年度は，学習指導要領が改訂され，英語の授業が週４時間となった。習得語数が 900 語程度から 1200 語程度と増えたため，教科書本文の内容は以前より難しくなったと感じる。新学習指導要領でも，言語の４技能「聞く」「話す」「読む」「書く」の技能を総合的に指導する重要性が示されている。

英語の授業においては４技能の総合的な育成を図ることが課題である。本校の実態として，生徒は「話す」「聞く」は比較的得意で，英文を「読む」こともできるか，その意味を理解することを難しいと感じたり，英文を「書く」ことに苦手意識をもったりする生徒が少なくない。

本年度は，県の推進事業「発音力アッププロジェクト」を受けて，発音力の向上をねらったパソコンソフト「発音力」を導入し，授業に取り入れたため，生徒の「話したい」と言う意欲はより高まった。4 技能につながりをもたせた授業になるよう工夫すれば，生徒が比較的得意とする「聞く・話す」というコミュニケーション活動の中で高まった意欲や自信を持続させて，「読む，書く」活動につなげることで力を付けることができると考える。

2　実践

（１）Unit７　サンフランシスコの学校

本単元では自分から海外の生活を調べてみたり，その後，海外旅行へ出かけたりする内容を扱う。生徒は，世界地図を用いて世界の主要都市の場所を調べ，インターネットを活用して，実際に各国の時差や，天候を調べた。各国で時差があったり天候が異なったりすることを初めて学んだ生徒も少なくなかった。文法事項としては，英語学習の中で必要不可欠な５Ｗ１Ｈの表現が多く含まれるので，ＡＬＴと一対一で会話する時間を多く設け，基礎・基本の定着から習得事項の活用へと時間を費やした。

（２）Speaking Plus４　（買い物）

本題材は，衣服を買うために自分の好みの色やサイズを店員に伝えるやり取りの場面を扱う。「聞く」「話す」活動を中心に行う題材だが，ペアでのやりとりを何度も練習した後，自分たち独自の英文シナリオを作ったり，発表したりすることで「書く」「読む」活動につなげた。ペア活動やグループ活動を通して，学び合いを主とした授業を行った。英語が得意な生徒がそうでない生徒に教えることで，新しい表現に気づき，教えることの喜びや難しさを通して達成感を得たりすることができた。また，不得意な生徒も，教えてもらうことにより意欲的に学習に取り組んだ。

3　成果と課題

授業はＪＴＥとＡＬＴ，２～３人でＴＴ指導をするため，個への指導を充実させることを通して，自信をもたせながらレベルアップを図るとともに，実践的コミュニケーション能力の基礎を培うことができた。また，発音力のソフトを導入したことによって，一斉授業では個人の発音練習を綿密に行うことが困難だが，個人のペースで練習が行え，その都度評価をしてくれることで，生徒の「話すこと」に対しての意識は一層高まった。ＡＬＴへ自分の意思が伝わることの達成感や満足感を感じている生徒が増えた。

今後は，口頭で，ある程度やりとりができる生徒も，文字にすることを苦手とする傾向がみられるので，「書く」活動を工夫して，４技能をバランスよく効果的に指導していくことが課題である。

守谷中学校　第１学年外国語指導案

１　単元名　　Ｕｎｉｔ７　サンフランシスコの学校　　（NEW HORISON English Course 1）

２　本時の学習

（１）目標

○　What time...? や How's the weather ? の文と応答の形・意味・用法を理解し，表現できる。

（２）展開

学習活動・内容	教師の指導と評価（◇教師の支援の手だて）	
	JTE（福元）・ALT（Rebecca）	JTE（澤田）
１　あいさつをする。 ２　ウォームアップケームをする。 ・万国旗の国名をあてる。	・大きな声で元気よく挨拶をし，学習への意欲を喚起する。	◇うまく活動ができない生徒に対して，進め方の助言や積極的に活動へ参加できるよう支援を行う。
３　本時の課題を確認する。	◇本時の学習課題を確認し，意欲的に授業に臨ませる。	
	世界の時刻や天気を知り，英語で表現してみよう。	
４　少人数に分かれて学習する。 ・リスニング問題に挑戦する。	・ＪTE はメモを取りながら聞くことを伝える。 ・ALT は自然な英語に慣れるために，１回目は普通に，２回目は全ての生徒が聞き取れるように，ゆっくり話す。	・メモを取りながら聞くことを伝える。 ◇支援が必要な生徒に対して，進め方の助言や積極的に活動へ参加できるよう個別指導を行う。
・ペアになりロールプレイをする。 “What time is it?” ---“It is eight.” “How's the weather?” ---“It's sunny.”	◇音読では，JTE は，アクセントやリズムに注意しながら大きな声で発音できるように支援する。 ◇ALT は机間指導を通して，日本語読みにならないようにイントネーションに注意しながら支援する。	◇音読では，JTE は，アクセントやリズムに注意しながら大きな声で発音できるように支援する。 ◇うまく活動ができない生徒に対して，進め方の助言や積極的に活動へ参加できるよう支援を行う。
５　ワークシートの発表をする。	・JTE は発表の仕方をわかりやすく説明し，生徒の意欲を高める。	・発表の仕方をわかりやすく説明し，生徒の意欲を高める。
	㊥What time...? や How's the weather ? の文と応答の形・意味・用法を理解し，表現できる。　（観察・ワークシート・発表）	
６　本時のまとめをする。 ・自己評価をする。	・JTE は，生徒の学習に対する取組を称賛する。また，本時の学習の理解度や，コミュニケーション活動への取組を振り返らせる。	・生徒の学習に対する取組を称賛する。 ・本時の学習の理解度や，コミュニケーション活動への取組を振り返らせる。
７　次時の確認をする。	・ALT は，生徒が積極的に活動した点を評価・賞賛し，達成感をもてるようにする。 ・次時は全体でワークシートの確認をすることを伝える。また，後に母国の生活を紹介することを知らせ，視野を広めて学習を深めていくということを伝える。	・次時は全体でワークシートの確認をすることを伝える。また，後に母国の生活を紹介することを知らせ，視野を広めて学習を深めていくということを伝える。

守谷中学校　第２学年外国語指導案

１　単元名　　Speaking Plus　4　買い物　　（NEW HORISON English Course 2）

２　本時の学習

（１）　目標

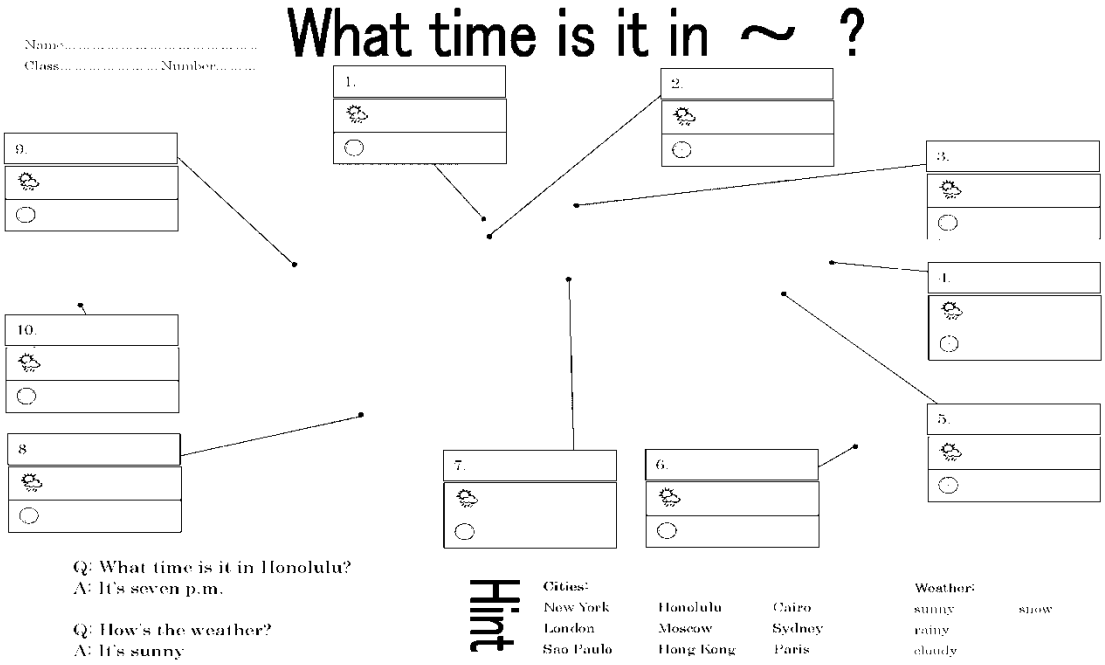
○ 自分の好みの色やサイズをたずねたり，購入したりすることができる。

○ 買い物で必要な場面や状況にふさわしい表現を理解することができる。

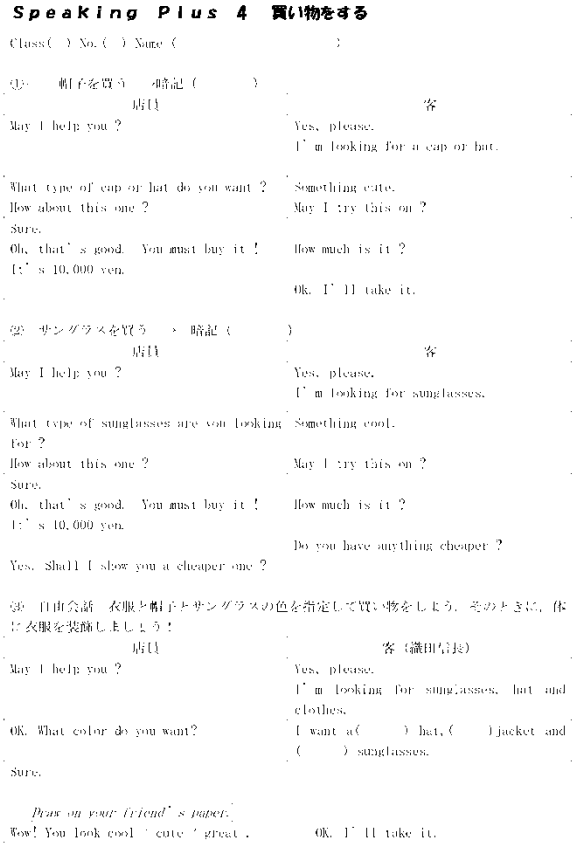
（２）展開

学習活動・内容	教師の指導と評価（◇は教師の支援の手だて）	
	JTE（澤田）	ALT（Rebecca）
１　ウォームアップ活動をする。 ○　ALT と Q&A をする。	・英語で対話することで英語学習への雰囲気づくりをする。うまく対話できない生徒には，質問内容をアドバイスしたりして参加できるようにする。	・生徒の相手となり積極的な対話活動となるように援助する。
２　ALT と JTE とのやりとりを聞きながら，本時の学習課題を確認する。	・実際の衣服を使用し，二人でデモンストレーションを行う。それによって，本時で学習する内容を把握させる。	
好みの衣服をたずねて買い物をしよう。		
３　買い物のしかたを理解し，ペアで練習する。人型の塗り絵に自分が購入した衣服の通りに描く。	○ワークシートを用意して，練習しやすいようにする。塗り絵を用いて，活動に臨場感をもたせる。	・生徒たちの対話の様子を観察し，適宜生徒とともに対話をする。
４　ワークシートを暗記する。以下の３点について練習をする。 ・イントネーション ・通じる発音 ・適度なスピードと音量	○帽子，サングラス，衣服を実際に用いて試着したり，店員がおすすめを伝えたりさせながら，実践に近づける。 ・ただ読むだけでなく，感情を込めて練習するように伝える。 ㊦ワークシートを暗記し，イントネーションや発音に気をつけて会話を行うことができる。（観察・発表）	㊦友達との対話活動に積極的に取り組もうとしている。（観察） ・各グループをまわり，生徒たちの活動を賞賛するとともに，模範の会話を示す。 ・発表を聞いて，３点について評価を行う。さらに，よい点や改善点を伝え次回の発表に生かせるようにする。
または，アドリブで，用意されている衣服を２点以上購入できるように会話を行えるようにする。その際も，暗記と同様に３点について注意して練習をする。	㊦アドリブで，用意されている衣服を用いて，会話を行うことができる。　（観察・発表） ・自己評価カードに具体的な記述ができるように促す。	・生徒と会話を行い，実際に通じるかどうかを観察する。
５　全体の前で発表をする。	暗記したものか，アドリブかを選んで発表をさせる。	・ナチュラルスピードで発音をし，自然な会話を生徒に根付かせるように練習させる。
６　本時のまとめをする。	・正しい発音を理解させ，基本表現の定着ができるように確認させる。	
７　次時の確認をする	本日使用したワークシートの中で終わっていない部分を行うことを伝える。	

（資料１）１年生の授業において使用したワークシート



（資料２）２年生の授業において使用したワークシート



Speaking Plus 4　買い物をする

Class(　) No.(　) Name (　　)

①:　帽子を買う　→暗記（　　）

店員	客
May I help you ?	Yes, please. I'm looking for a cap or hat.
What type of cap or hat do you want ? How about this one ? Sure. Oh, that's good.　You must buy it ! It's 10,000 yen.	Something cute. May I try this on ? How much is it ? Ok. I'll take it.

②:　サングラスを買う　→暗記（　　）

店員	客
May I help you ?	Yes, please. I'm looking for sunglasses.
What type of sunglasses are you looking for ? How about this one ? Sure. Oh, that's good.　You must buy it ! It's 10,000 yen. Yes, Shall I show you a cheaper one ?	Something cool. May I try this on ? How much is it ? Do you have anything cheaper ?

③:　自由会話　衣服や帽子やサングラスの色を指定して買い物をしよう。そのときに、体に衣服を装飾しましょう！

店員	客（織田信長）
May I help you ?	Yes, please. I'm looking for sunglasses, hat and clothes.
OK. What color do you want?	I want a(　　) hat,(　　)jacket and (　　) sunglasses.
Sure.	

Draw on your friend's paper.

Wow! You look cool ・ cute ・ great .　　OK. I'll take it.

（資料３）資料２③自由会話を絵で表現し，発表するためのワークシート

外国語の実践

守谷市立愛宕中学校

1　はじめに

本校では，既習事項を組み合わせ，場面に応じて表現することにより学習した言語材料を定着させることができると考え指導に当たってきた。本年度はクラスを２つに分けた少人数で活動させることで，よりきめ細かい指導を行えるようにした。学習した言語材料を活用して表現する活動には生徒は主体的に取り組む事ができる。具体的活動として，Ｃ＆Ｃ活動（Creative & Communicative）や Show & Tell，Speaking plus などの"plus"セクションでの創作と発表を行った。

英語科では以前より取り組んできた，発信力を養うさまざまな output の場面を更に工夫することで表現力の一層の向上を図ろうと考え実践した。そのために，自分自身を表現する場面を設定し，習得した語彙や語法を用いて英語を実際に使う活動を計画的に行った。また，発音力アップソフトを用いて英語らしいリズムやイントネーションの向上を個別に指導した。

2　実践

(1) Speaking Plus 2　（第２学年）

電話でよく使われる表現を用いて，スキット作りとその発表を行った。昨年も電話での会話には触れており，今回は「取り次ぎを依頼する」表現を加えた。May I ～ ？は「～してもよいか」という意味で既習である。基本的には許可を求める表現であるが，幅広く使用することができる。店員が客に「いらっしゃいませ」，忙しそうにしている相手に「ちょっとよろしいですか」と使うことができる。今回のように電話では「～さんはいらっしゃいますか」と使うことができる。

同じフレーズでも話し手，聞き手，場面を意識することにより，コミュニケーションツールとして生きてくる。may のもつ語感を知識として習得し，電話でスキットを作り演じることで定着を図った。

(2) Speaking Plus 4　（第３学年）

既習の to 不定詞につまづいている生徒への支援を考え，習熟度別にクラスを分け指導に当たった。今回は電話で「依頼」や「申し出」をする表現を導入し，既習表現を積極的に活用し，コミュニケーション活動を行った。Ａコースの生徒は教科書のモデルを参考にオリジナルのスキットに取り組ませた。Ｂコースの生徒はモデルの対話を暗唱することに重点を置き，関連表現の復習にも時間をかけた。

3　成果と課題

少人数で指導することにより，個々の生徒の実態に即してよりきめ細かく指導することができた。発表原稿の作成の活動では個人の思いが作品に反映される機会を増やすことができた。必要に応じて未習の言語材料を用いてストーリーを展開する場面も見られ，楽しみながら自己を表現する活動ができた。また，グループ内でリーダーシップをとることのできる生徒が皆の練習を助ける様子が見られた。習熟度別の学習では特に基礎コースを数名に絞って指導した結果，普段発表を遠慮している生徒も生き生きと活動することができた。少ない人数の中でリラックスして課題に取り組める環境を与えることができた。

習得した知識を活用するために output の活動や，発音練習は効果があった。今後も英語を書いたり，話したり，演じたりする活動を続け，コミュニケーション活動に必要な基礎・基本を身に付けようとする意欲を持たせ続ける工夫をしていきたい。

また，担当教師同士の連携を密に取り，これまで以上に進度や生徒理解についての共通理解を図り，生徒個々の英語力向上につなげたい。

愛宕中学校　第２学年　外国語指導案

授業者 JTE　新保明希
ALT　Geoffrey　Ashbrook

１　単元名　　Speaking plus 2　電話での応答（NEW HORIZON ENGLISH Course 2）

２　本時の学習

（１）目標

○　電話の会話を学び，取り次ぎの表現を用いてオリジナルのスキットを作ることができる。

（２）展開　　★は研究テーマに迫るための個への手立て

時間	学　習　活　動・内　容	指導上の留意点・評価	
		ＪＥＴ	ＡＬＴ
1	1　あいさつ Good morning. How are you? I'm fine, thank you. And you ？ etc.	・大きな声であいさつし，英語学習の雰囲気を盛り上げる。	
7	2　クリス・クロスゲーム What time did you get up this morning? What are you going to do this evening? etc.	・既習の表現を用いた一問一答の対話を行う。 ・JET と ALT が交互に質問する。	
40	3　本時の学習内容を確認する。 May I speak to Taro, please? を使ってスキットを作ろう。	・課題を板書し，本時のねらいを確認できるようにする。 ・モデル対話を行い，「～さんをお願いします」を導入する。	
	(1)　新出語句の確認	・生徒と一緒にリピートする。 ・意味の確認をする。	・モデルを示し，リピートさせる。
	(2)　対話の音読練習 ・ＡＬＴの後に続いて 1 文ずつ丁寧に読む。 ・役割を変えて練習する。 ・各自が自力で全文を読む。	・読み方を変えて何度も練習できるようにする。	・モデルを示し，リピートさせる。
	(3)　対話の暗唱をする。 ・ケビン，ベッキーの母，ベッキー役を決めそれぞれの台詞を暗唱する。 ・教師にチェックを受ける。	・５分間時間をとり，できるようになったグループからチェックを受けるよう指示する。 ★暗唱が苦手な生徒は，ベッキーの台詞を練習するよう指示し，教師の範読で練習させる。	
	(4)　その他の表現を練習する。 ・電話をかける側 I'll call back later. など	・生徒と一緒にリピートする。	・Tool　Box を範読し，リピートさせる。
	・電話を受ける側 Sorry. You have the wrong number. Sorry, but he's out now. など	・時間をかけずに，慣用句として扱う。 ・wrong は反対語の good と対比させる。 ・「～はいらっしゃいますか」の表現を使ってスキットを作るよう指示する。	
	(5)　スキットを作る。 ・３人１組のグループで教科書を参考にオリジナルのスキットを作る。 ・スキットができたグループから練習を始める。	・教室を回り，分からない表現などに答える。 ★単語の入れ換えのみでスキットを完成させ，練習に時間をとるよう指示する。 **㊐　場面を理解し，既習の表現を用いてスキットを作ることができる。**	
2	4　次時の学習内容を知る。	・よかった点を上げ，本時の活動を賞賛する。 ・次時は，友だちに伝わるよう工夫し，スキットの発表を行うことを予告し，意欲の継続を図る。	

愛宕中学校　第３学年　外国語指導案

授業者 JTE　篠塚正生
ALT　Geoffrey　Ashbrook

1　単元名　　Speaking plus 4　電話での応答（NEW HORIZON ENGLISH Course 3）

2　本時の学習

（1）目標

○「あとでかけさせましょうか」などと申し出たり，伝言を頼んだりする表現を使い，スキットを作り発表する事ができる。

（2）展開　　★は研究テーマに迫るための個への手立て

時間	学習活動・内容	指導上の留意点・評価	
		ＪＥＴ	ＡＬＴ
1	1　あいさつをする。	・　元気よくあいさつをし，明るい雰囲気作りをする。	
2	2 本時の学習課題を把握する。 電話の対話を作り発表しよう。	・　「I'm sorry, she's out.」「Do you want 人 to 不定詞」を入れた電話の対話を作ることを確認する。	
1 2	3　モデルの対話を聴く。 (1)　対話の内容を聞き取る。	・　モデルを示し，スキット作りへの興味・関心を持たせる。	
	(2)　対話についての Q&A に答える。	・答えを確認する。	・内容についての質問をする。
	(3)　音読練習をする。	・飽きさせないよう変化を持たせ，多く音読させる。	・必要に応じてくりかえしたり言い換えをする。
	(4)　スキット作りに使えそうな文を書き取る。	・　単語，フレーズ，文と徐々に長く読むとともに，ゆっくりからナチュラルスピードに近づけていく。	
		・キーワードを英語で言わせ，それに修飾語をつけていく。	・
1 2	4　スキットを作る。 〈スキットの構成〉 ・４往復の会話となるようにする。 ・Hello? ではじまり，Thank you.－You're welcome. で終わる。 ・10 文から 14 文を標準とする。（あいづち表現などを含む。）	・　モデルスキットの時間や場所を変えていくよう指示する。 ・　下書きをチェックし，原稿を音読させ文字を正しく音声化できているか確認する。 ★　正しく音声化できない生徒には，何度も復唱させる。 ★　10 文を書けない生徒には，あいづち表現を取り入れるよう助言し，負担を減らす工夫をさせる。	
1 5	5　スキットを練習する。 (1)　原稿を見て音読練習をする。 (2)　暗唱できたらペアで練習する。	・　自信をもって音読できるようになった生徒に暗唱に取り組ませる。 ・　受け答えのタイミングや強弱，ジェスチャーを入れて練習するよう助言する。	
5	6　スキットを発表する。 ・相互評価をしながら，発表を聞きよいところをカードに記入する。	・　相互評価を取り入れて，主体的に友達の発表を聞けるようにする。 **㊐　場面に応じた話し方で，電話の対話を発表できる。**	
3	7　本時のまとめをする。 ・ワークシートの自己評価欄に記入し，活動に意欲的に取り組めたかを振り返る。	・　個々のよかった点を賞賛し，次の活動で生かそうとする意欲をもたせる。	

（資料１）授業の様子

C&C　原稿作り

練習

発表

（資料２）評価カードと作品例

外国語の実践

守谷市立御所ケ丘中学校　担当　西尾直美

1　はじめに

本校の英語科は，「４技能のバランスを考えた授業展開の工夫」という研究主題のもとに授業の工夫改善に努めてきて４年目を迎える。新里(2008)は，４技能を総合的に活用した授業の工夫として７つの提案をしている。本校では，前年度の反省から，そのうちの２点「スピーチやディスカッション，ディベートなど，４技能の総合的な活用を前提とした活動を取り入れる」ことと，「プロジェクトワークなどを取り入れる」ことを単元，あるいは学期末に意図的に設定し実践することを目標とした。つまり，英語科で設定した研究副主題，「インプットとアウトプット活動の充実」である。

従来，あるいは現在の多くの英語教師の授業の主は，インプット活動に重点が置かれている。生徒にインプットさせる表現も教師が与えるもので，生徒の活用場面に即したものでない場合も多い。さらにゲームなどを通して，一見意欲的なコミュニケーション活動に見えるが，単なるパターンプラクティスに終始してしまっていることも常であり，４技能を総合的に活用する学習活動とはなっていないことが懸念されている。

このような現状を省みて，本校英語科では，従来のインプット活動に，生徒が既習事項を活用して英語で表現する必要性が感じるアウトプット活動を意図的に組み込むことで，４技能の総合的な育成を図ることができると考えた。次項においては，本校でのアウトプット活動の実践を２例紹介する。

2　実践

本項では，第１学年と第３学年の取り組みについて紹介する。

第１学年の授業実践では，小集団によるスキットの作成と発表によるアウトプット活動を行った。ストーリーを作成する際には，「書く」「読む」能力が，発表し合う時には「話す」「聞く」能力が必要となる。

第３学年では，５月に行った修学旅行の経験をもとに，日本文化も発信するスピーチ活動を個人活動として取り入れた。既習事項にとらわれずに努力してつくりあげたスピーチは，卒業記念作品として年度末まで時間をかけて仕上げさせた。練習後，原稿を見ないで書くテスト，ALTの前でのスピーチ活動，スピーチに対する質問に英語で答える活動という，１つのタスクを通して４技能の評価が可能となる活動へと発展させた。

3　成果と課題

今年度の英語科が掲げた目標は，インプット活動後のアウトプット活動という授業の流れを，「御所中スタイル」として定着させることであった。しかし，その目標達成には至らなかった。その主たる原因は，新学習指導要領が求める英語教育に対して，教師自身の理解不足，及び研修不足である。従来の授業スタイルを継続することは，容易なことである。アウトプット活動を導入すると，生徒一人一人の表現は多様化し，その分エラーも算出される。教師の指導も個に対応しなければならなくなり労力は増す。しかし，今後は，生徒達が何とか伝えようと産出した英語に対して，教師は丁寧に根気強く指導し続ける姿勢を身につけることが急務であると感じている。従来のインプット重視，パターンプラクティスだけで進んでいく授業は，４技能の「総合的な」育成はむずかしいであろう。

4　スキットを発表する。 ・グループごとに順番に発表する。 ・聞き手は各グループの良かった点をワークシートに記入する。	○各グループの発表で良かった点や努力した点を具体的に挙げて称賛し，他のグループへの意欲付けも行う。 評価　級友と協力し合いながら，楽しんで堂々とスキット発表をすることができる。（発表）
5　ワークシートに自己評価を記入し，本時のまとめをする。	○最優秀グループを発表し，称賛する。 ○英語力に限らず，演技力やアイディアが良かった生徒にも賞を与え，称賛する。 ○聞く態度で良かったところも具体的に挙げ，称賛する。 ○スキットを作成する過程を振り返り，英語で自分の言いたいことを級友と協力して表現できたことを称賛し，今後の学習への意欲付けとしたい。

学習活動及び内容	支援・援助及び評価
1　本時の学習課題を確認する。 スキットを発表しよう。	○今までに準備してきたスキットの発表であることを伝え，生徒に自信を持たせるような言葉かけをし，学習意欲を高める。
2　発表する時の注意点を確認する。 ・大きな声ではっきりと話す ・ジェスチャーを交える ・聞いている人の方に体を向ける	◎聞き手に伝わる発表ができるように，発表にあたって心がけるポイントを具体的に示す。 ○発表者が安心して発表できるように，聞き手は発表者の方を向いて聞くことや，発表の開始時と終了時には大きな拍手をして，お互いの発表を称賛し合うことが大切であることを伝える。
3　発表の練習を行う。	○発表するときの注意点が実行できているか確認し，自信を持って発表に取り組めるよう支援する。 ○習熟度が低い生徒には間違いを恐れずに発表することが大事であることを助言し，自信を持って発表に臨めるようにする。
4　スキットを発表する。 ・グループごとに順番に発表する。 ・聞き手は各グループの良かった点をワークシートに記入する。	○各グループの発表で良かった点や努力した点を具体的に挙げて称賛し，他のグループへの意欲付けも行う。 評価　級友と協力し合いながら，楽しんで堂々とスキット発表をすることができる。（発表）
5　ワークシートに自己評価を記入し，本時のまとめをする。	○最優秀グループを発表し，称賛する。 ○英語力に限らず，演技力やアイディアが良かった生徒にも賞を与え，称賛する。 ○聞く態度で良かったところも具体的に挙げ，称賛する。 ○スキットを作成する過程を振り返り，英語で自分の言いたいことを級友と協力して表現できたことを称賛し，今後の学習への意欲付けとしたい。

御所ケ丘中学校　第３学年英語科学習指導案

授業者　JTE １　西尾　直美
JTE ２　小針　淳一
ALT　Greg Anton

１　単元名　Multi Plus　２　修学旅行（School Trip）

２　本時の学習

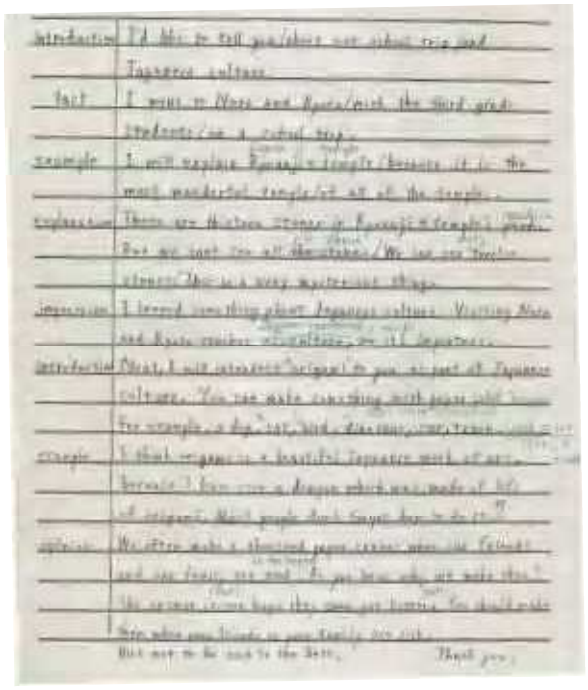
(1)目標

・自分が表現したい内容を，既習事項や辞書を用いながら英文で書こうとすることができる。
・修学旅行の思い出や外国人に紹介したい日本文化について，自分の気持ちや考えを入れて英文を書くことができる。

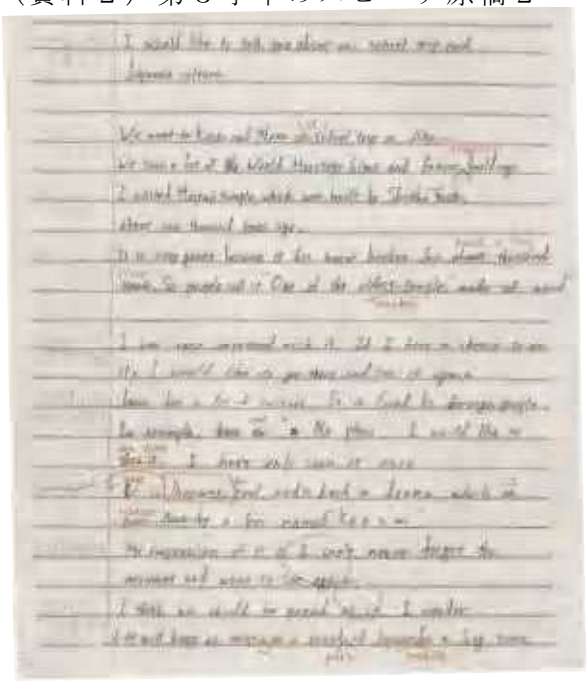
(2)展開　（○支援　◎表現力を高めるために具体的な手立て）

学習活動及び内容	支援・援助及び評価	
	T１・ALT　（生徒２５名）	T２　（生徒１１名）
１　本時の学習課題を確認する。 修学旅行の思い出や日本文化について，自分の気持ちや考えをいれて英文をつくろう。	○【T1】前時の続きの学習活動であることを伝え，粘り強く英作文に取り組むことが力をつけることを助言し，学習意欲を高める。 ○【ALT】分からない時は，すぐに声をかけてほしいという意思を伝え，生徒の活動への意欲付けを行う。	○前時の続きの学習活動であることを伝え，繰り返し練習して上達することの重要性を助言し，学習意欲を高める。 ○少ない人数で，ゆっくりとしたペースで学習活動を進めることを伝え，リラックスした授業の雰囲気づくりに努める。
２　英作文をつくる。 【英作文例】 We went to Kyoto and Nara on May. We visited Kinkakuji temple. It was very old but beautiful. It was built by Hideyoshi Toyotomi. I was very moved when I looked at it. I want to introduce hot spring as one of the Japanese culture. It is called 'onsen' in Japanese. There are a lot of hot springs in Japan. Japanese people like them very much.	○生徒が作成した英文にエラーがある時は，自分で作成したことをまず称賛し，その上で，正しい表現を助言する。 ○言語的なエラーをおそれずに取り組むことで，正しい表現を身につけることができることを助言する。 ◎どのように表現してよいか分からないでいる生徒には，戸惑っている原因を明らかにし，辞書や語順一覧表で該当ページを示しながら説明し，英文が完成するまで支援を行い，完成したことを称賛する。	○例文を参考にしながら，自分が表現したことを書くことができた生徒を大いに称賛する。 ○繰り返し練習をしている生徒を称賛し，他の生徒への意欲づけも行う。 ◎どのように表現してよいか分からないでいる生徒には，例文を提示し，一緒に英文が完成するまで支援を行い。完成したことを称賛する。 ◎必要に応じて，辞書や語順一覧表を用いて文法的な助言も行う。
	評価　表現したい内容を聞いたり調べたりしながら，自分の気持ちや考えを入れて書くことができる。（観察・ﾜｰｸｼｰﾄ）	
３　本時のまとめと今後の学習予定を確認する。	○前時から時間をかけて粘り強く書く活動に取り組んでいることを称賛する。	○前時から，繰り返し練習をする努力をしている姿を称賛する。
	○次時は，英作文を完成し，その後のスピーキングテストの練習を行うことを伝え，見通しをもって学習活動に取り組むように助言する。	

（資料１）第３学年のスピーチ原稿１



（資料２）第３学年のスピーチ原稿２



（資料３）３学年のスピーチ原稿作成の際に示した，スピーチの流れ

School trip and Japanese culture

修学旅行での歴史的建造物や，日本文化について，自分の気持ちや考えを入れて英文をつくろう。

〈Introduction〉
I'd like to tell you about our school trip and Japanese culture.
〈Fact〉 修学旅行へ行ったこと
〈Example〉 メモした建造物の紹介

〈Explanation〉 建造物の紹介
〈Impression〉 建造物に対する自分の感想

〈Introduction〉
Next, I'd like to introduce _____ as Japanese culture.
〈Explanation〉 メモした日本文化の紹介
〈Opinion〉 紹介したもののよさや，おススメのポイントなど

【参考資料】
新里眞男(2008)「いま，４技能を総合的に考える必要性」『英語教育』(2008 年４月号). 大修館書店

英　語　教　育　の　実　践

守谷市立けやき台中学校　担当　川上　優紀

1　はじめに

今年度本校では「主体的に考え，表現しようとする生徒を育成する学習指導の在り方　－各教科における言語活動の充実を通して－」というテーマを設定し，研究にあたってきた。英語科においては，「『聞くこと』や『読むこと』を通して得た知識や情報などを，自分の体験や考えなどと結びつけながら，『話すこと』や『書くこと』を通して発信・表現する活動を充実する」という研究テーマを設定した。

2　実践

（1）「話すこと」を通して発信・表現する活動について

①第１学年

第 1 学年においては，既習表現の活用に重点を置き，スキット（短い対話文）の発表機会を多く設けた。英語を話すことに対する抵抗感を軽減するため，小グループ単位での発表を増やすよう配慮した。また自作の英語表現下敷きを配布した。

②第２学年

第２学年においては，インフォメーションギャップを含んだインタビュー課題を多く取り入れ，生徒たちが楽しみながら話すことができる機会を多く設けた。

③第３学年

第３学年においては自分の持ち物について皆に説明したり，修学旅行で外国人にインタビューしたりするなどの，より実生活に基づいた課題を設定することで英語の有用性について実感できるよう配慮した。

（2）「書くこと」を通して発信・表現する活動について

①第１学年

第 1 学年においては基礎・基本の定着に重点を置き，ワークブックやスキット作文の細めな添削に継続的に取り組んだ。

②第２学年

第２学年においては，インタビュー活動のまとめとして英文を書く活動を多く取り入れた。話す活動とリンクさせることで，生徒たちは楽しみながらライティングに取り組んだ。

③第３学年

第３学年においては，自作のワークシートを使用し，基本文を活用させることに重点をおいた。それを基に身近な話題について自分の考えや思いを表現するライティング課題に取り組ませることで，生徒たちはスムーズに英語で文章を組み立てていた。

3　考察

「話すこと」と「書くこと」を通して発信・表現する能力を育成するためには，まずインプットが重要である。自作のワークシートやワークブックの添削等の基礎学習を通して，基本的な学力の定着に努めたことが，表現力を育成することの素地として働いたように思われる。

また，生徒たちが興味を持ちやすい課題の設定，例えばユーモアの要素を取り入れたスキット作りや実生活に近い条件下でのインタビュー活動などが，英語で自己を表現したいという気持ちにつながったようだ。

以上のことを通して，生徒の発信力・表現力を育成するためには，基礎的・基本的な学力の育成と生徒たちの学習意欲を喚起する課題の設定が重要であると考える。

4　課題

基礎的・基本的な学力や自己表現力を育成するために，さらに多くの手だてを講じていきたい。また，三年間で継続的に取り組んでいけるような課題も取り入れていきたい。

１学年２組　英語科学習指導案

(1) 目標

電話での対話を理解し,モデル文を状況に応じて作り替えることができる。

(2) 準備・資料

ゲーム用ワークシート，電話の玩具,ピクチャーカード，フラッシュカード,電子黒板,
ゲーム用ボール，ストップウォッチ,ゲーム用カード

(3) 展開　（○は研究主題に迫るための具体的な手立て，(評)は評価を表す）

時間	学習内容及び活動	指導上の留意点
１分	１ あいさつをする。	・英語学習の雰囲気作りをする。
９分	２ Warm-up をする。	・ゲームを通して，三人称単数現在形を復習させる。 ○ Q&A 形式を取ることによって生徒が対話する回数を増やせるよう配慮する。
３分	３ JTE と ALT のモデル対話を聞くことを通して，本時の学習課題を確認する。 電話で会話をしよう。	・JTE と ALT のスキット（演技を含めた短い対話文）を聞くことを通して,新出事項をより分かりやすく導入できるよう工夫する。 ・ジェスチャーなどの非言語的表現を取り入れ,理解の助けとなるよう配慮する。
３分	４ 文法事項を確認する。 電話で名乗る際の This is ~. の用法について	・JTE が電話の会話で用いられる表現について説明する際,その違いがある理由に簡単に触れ,生徒たちの理解をより深められるようにする。
８分	５ 教科書の内容について確認する。	・ALT　と単語や文の音読練習を行うことで,正しい発音やアクセントを身につけさせる。
８分	６ 電話での自己紹介の仕方を練習する。 A: Hello ？ B: Hello, A? This is B. A: Oh, hi B.	・ボールを使ったゲームを取り入れることで，楽しい雰囲気で新出表現に親しめる状況を作る。ゲームを通して生徒が新出表現を耳にする回数を増やし，より定着しやすくなるようにする。
７分	７ モデル文の入れ換え活動を通して,電話で人を誘う表現について学習する。 A: Are you free on Saturday? B: Yes, I'm free. A: Let's play tennis.	・モデル文を作り変える助けとして,様々な語句を記入したフラッシュカードを用意する。 ○入れ換え練習を多く行うことで新出文型の使い方に慣れさせる。
10 分	８ カードゲームをする。	・電話での会話の仕方を定着させるため，カードを使ったゲームをする。 ○申し出に対する断り方などの条件も加えることで,より自分の実際生活に基づく表現も可能であるということに気づかせ，生徒たちが表現の幅を広げられるよう配慮する。 (評) モデル文を必要に応じて適切に作り変え，使うことができている。　（観察）
１分	９ あいさつをする。	

２学年４組　英語科学習指導案

(1) 目標

There is (are)～の用法を理解し，絵の内容を正しく書いて伝えることができる。

(2) 準備・資料　　ピクチャーシート，ワークシート

(3) 展開（○は研究主題に迫るための具体的な手立て，評は評価を表す。）

時間	学習内容及び活動	指導上の留意点
１分	１　あいさつをする。	・大きな声で挨拶をすることで，本時の活動を活発に取り組めるような雰囲気を作る。
５分	２　Warm-up をする。	・既習事項を用いた簡単な英会話練習を通して，楽しく英語を学習する雰囲気を作る。 ・ALT は，間違った表現をした生徒に対して，その場で正確な表現を伝え，定着を図る。
５分	３　本時の学習課題を確認する。 自分の部屋の様子を紹介しよう。	○ There is (are)～構文の用法や，英作文時に気を付ける点等について，説明を交えた板書をすることで本時の main activity にスムーズに取り組めるように指導する。 ・ALT と共に机間指導を行い，生徒一人一人が本時の新出文法の活用法を理解できるような指導を心がける。
10 分	４　新出文法を確認する。 ◇ There is a clock in the lobby. ◇ There are two clocks in the lobby.	・４人グループを作り，協力して課題に取り組むよう指導する。 ・グループ内で英作文を読むことで，全員が語と語のつながりを正しく理解し，英作できるよう配慮する。
20 分	５　ワークシートに書いた自分の部屋の絵を英文で表現する。 〈予想される生徒の表現例〉 ◇ There is a book on the desk. ◇ There is a TV near my bed. ◇ There is a chair by the window. ◇ There is a computer on the table. ◇ There are two pictures on the wall. ◇ There are some comics on the desk. ◇ There are many bags on the floor. ◇ There are many pens in my bag.	○机間指導をし，英作文の苦手な生徒にヒントを与えるなどして，課題に意欲的に取り組めるよう支援する。 ・ALT は机間指導を行い，高度な表現を使用したい生徒の助言に努める。 ・より詳細な説明文が書けた生徒を称賛し，グループ内で知識の共有ができるよう促す。 評 新出文法を用いて，絵の内容を正しく書いて伝えることができる。（観察・ワークシート）
	６　英文におこした絵の詳細を，グループ内で発表し合う。	・発表者には大きな声で発表するよう指示し聞く側にもしっかりとした態度で聞くよう指導する。
５分	７　各グループから代表１名を選出して，全体に発表する。	・ALT は机間指導を通して，正確な読み方や発音の指導に努める。
３分	８　本時のまとめをする。	・発表した生徒を全員で称賛する。
１分	９　あいさつをする。	・発表者が使用した表現や良かった点等を取り上げ，全体で確認をする。

資料

（１）１学年の授業におけるワークシート

Name: _____ Class: _____ Number: _____

Score Sheet

Round 1: _____ X _____ = _____

Round 2: _____ X _____ = _____

Round 3: _____ X _____ = _____

Total: _____

Example
A: Hello?
B: Hello. This is [B].
A: Oh, hi [B].
B: Are you free on Monday? Let’s go surfing.
A: (Yes, I’m free. / Sorry, I’m busy.)
B: (Great. Goodbye. / OK. Goodbye.)
A: Bye.

（２）１学年の授業風景

（ア）

（イ）

（ウ）

（ア）電子黒板を用いた授業
（イ）ペア会話を練習する生徒
（ウ）カードゲームを通して会話を楽しむ生徒